Zebra® RW シリーズ
モバイルプリンタ

モバイルプリンタ

UMAN-RWS-072 Rev. A
2006 年 2 月

目次

所有権

本書は Zebra Technologies Corporation の所有権情報を含みます。本書は、本書に記載されている機器の操作およびメンテナンスを行う当事者による情報参照および使用のみを目的としています。かかる著作権情報は、Zebra Technologies Corporation の明示された許可書がない限り、その他のいかなる目的のためにその他のいかなる相手方に対して、使用、再生産、開示することはできません。

製品の改良

Zebra Technologies Corporation の継続的な製品改良を行うという企業方針に従い、すべての仕様および意匠は予告なしに変更されることがあります。

FCC 規制準拠

クラス B デジタル機器。家庭用またはオフィス用製品の FCC 規格準拠試験済み。

警告: 高周波への暴露。FCC RF 暴露要件に準拠するため、この機器は本書記載の操作条件および指示に従って使用されるものとします。このプリンタには、利用可能なワイヤレス通信オプションがいくつかあります。各ワイヤレス通信に関する補足規制情報については、あとの項に記載されています。

注記: 本装置は、シールドケーブルを使用した周辺機器との接続試験済みです。準拠を保証するため、本装置にはシールドケーブルを使用する必要があります。

Zebra Technologies Corporation が明示的に許可していない本装置の変更または改造により、本機器のユーザーの操作権限が無効になる可能性があります。

カナダの規制準拠

このクラス B のデジタル機器は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme á la norme NMB-003 du Canada.

機器認証番号の前にある「IC:」はカナダ産業省の技術仕様を満たしていることを示します。認可製品がユーザーの期待どおりに機能することは保証していません。

代理店認可および規制情報

- FCC 15 章
- NOM/NYCE（メキシコ）
- EN55022:1998 クラス B 欧州電磁放射線規格
- カナダ STD RSS-210
- EN60950:2000 安全規格
- C-Tick（オーストラリア）

責任の否認

Zebra Technologies Corporation は、本書の情報を正確なものにするために最大限の努力を払っており、誤った情報および漏れに関するいかなる責任も負いません。Zebra Technologies Corporation は、かかる誤りを訂正する権利を留保し、それから生じる責任を放棄します。

間接的損害の責任免除

付随の製品（ハードウェアおよびソフトウェアを含む）の製作、生産、または出荷に関わる Zebra Technologies Corporation またはその他の当事者も、かかる製品の使用、使用の結果、または使用できなかったことから生じるいかなること（制限無しに事業利益の損失、事業中断、事業情報の損失などによる損害、またはその他の金銭上の損害を含む）に関して、たとえ Zebra Technologies Corporation がかかる損害の可能性について通知を受けていたとしても、責任がないものとします。州によっては間接的損害または付随的損害の免除を認めていないため、上記の制限が適用されない場合があります。

著作権

次のページ

あります。
Univers™ は、Heidelberger Druckmaschinen AG の商標であり、一定の法域において登録されていることがあります。またLinotype Library GmbH を通して独占的に許諾されており、Heidelberger Druckmaschinen AG の完全子会社です。
Futura® はBauer Types SA の商標であり、 米国特許商標局に登録されています。この商標はいくつかの法域において登録されていることがあります。
TrueType® は、Apple Computer, Inc. の商標であり、米国特許商標局に登録されています。この商標は一定の法域において登録されていることがあります。
その他すべてのブランド名、製品名、商標の所有権は各所有者に帰属します。

表記規則

本書では、特定の情報を伝えるために以下の表記規則を使用しています。

本書をオンラインで閲覧している場合、関連 Web サイトに移動するには、下線付き文字をクリックしてください。本書内の該当箇所に移動するには斜体文字（下線は付かない）をクリックしてください。

注意、重要、注記

注意 • 静電気放電の可能性があることを警告します。

注意 • 電気的ショックの可能性があることを警告します。

注意 • 過剰過温が火傷の原因となる状態を警告します。

注意 • 特定の対策を取らなかったり、回避するとお客様の身体的危害の原因となる可能性があることを忠告します。

注意 • 特定の対策を取らなかったり、回避するとハードウェアへの物理的損傷の原因となる可能性があることを忠告します。

重要 • タスクを終了するための基本的な情報について忠告します。

注意 • 本文の重要ポイントを強調または補足する中立的または肯定的な情報を示します。

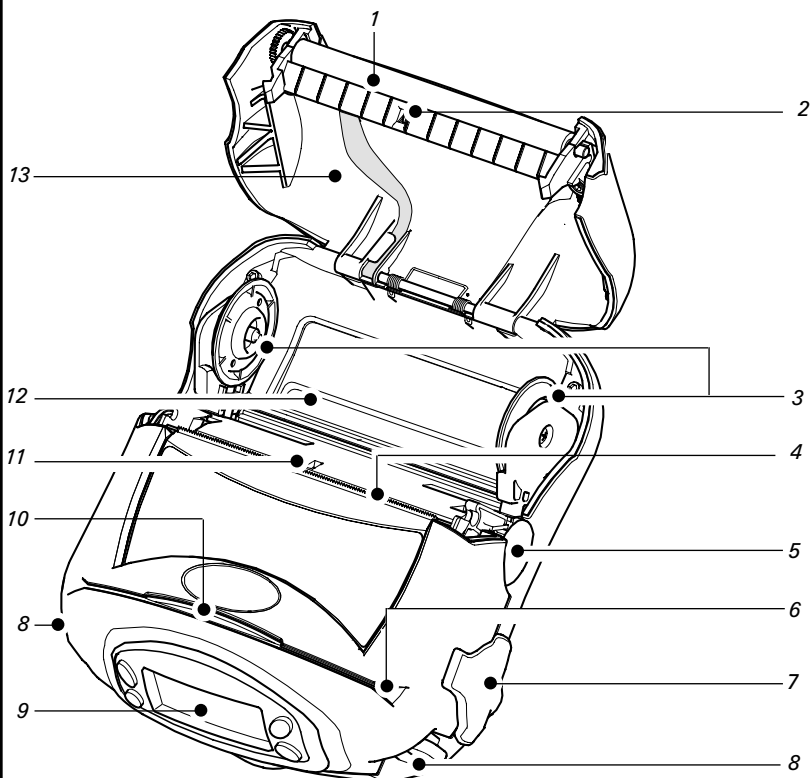
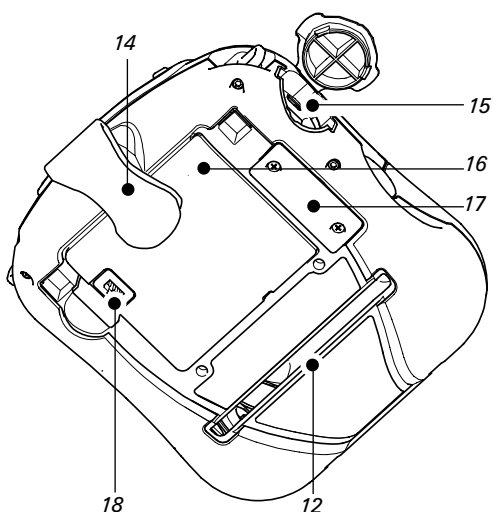
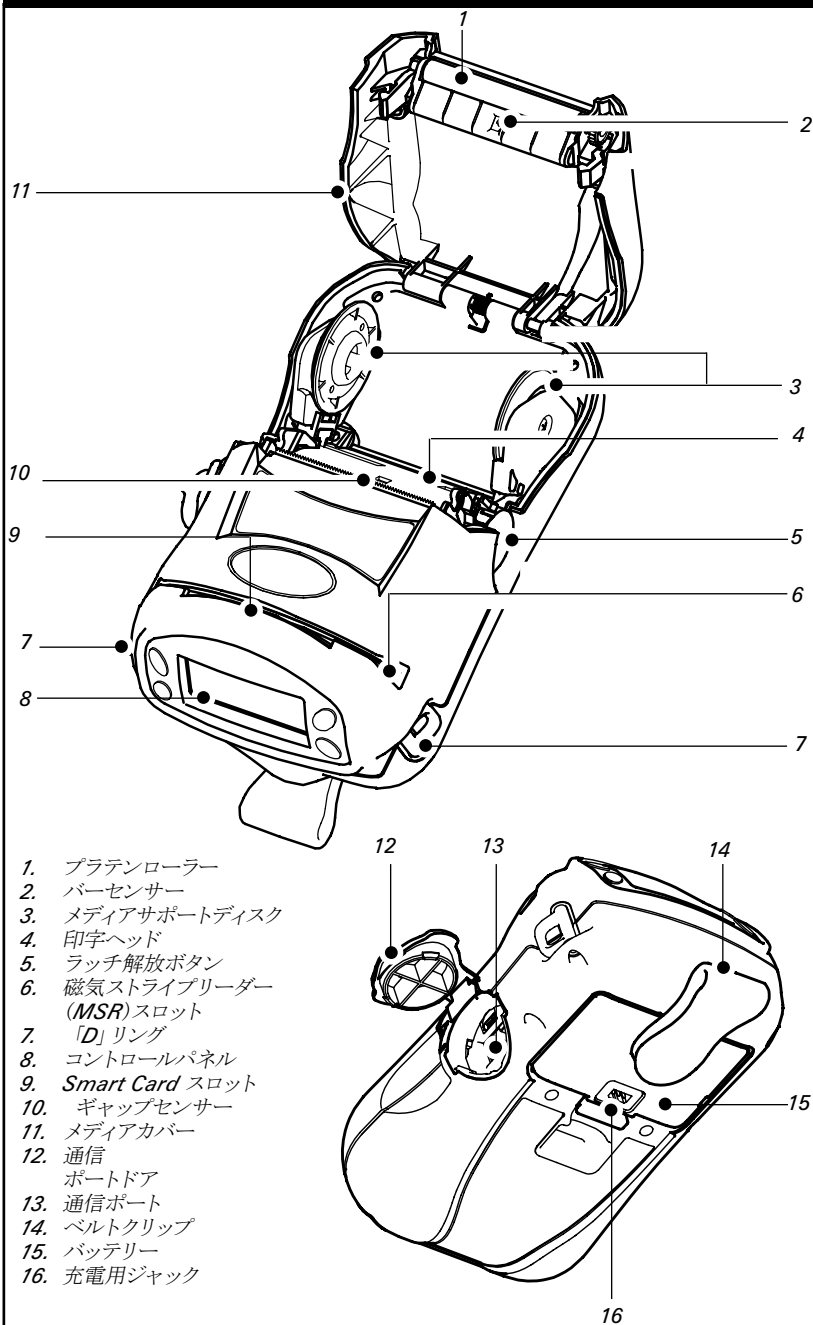
図 1：RW 420 の概要

1. プラテンローラー
2. バーセンサー
3. メディアサポートディスク
4. 印字ヘッド
5. ラッチ解放ボタン
6. 磁気ストライプリーダー（MSR）スロット
7. 通信ポートドア
8. 「D」リング
9. コントロールパネル
10. Smart Card スロット
11. ギャップセンサー
12. 底面用紙フィードスロット（外付け用紙モデルのみ）
13. メディアカバー
14. ベルトクリップ
15. 通信ポート
16. バッテリー
17. ドッキングコネクタカバー
18. 充電用ジャック

図 2:RW 220 の概要

1
2
11
3
4
10
9
5
6
7
8
7
12
13
14
15
16
1. プラテンローラー
2. バーセンサー
3. メディアサポートディスク
4. 印字ヘッド
5. ラッチ解放ボタン
6. 磁気ストライプリーダー（MSR）スロット
7. 「D」リング
8. コントロールパネル
9. Smart Card スロット
10. ギャップセンサー
11. メディアカバー
12. 通信ポートドア
13. 通信ポート
14. ベルトクリップ
15. バッテリー
16. 充電用ジャック

RW シリーズについて

　Zebra RW シリーズ モバイルプリンタをお選びいただきありがとうございます。この頑丈で革新的なデザインのプリンタは、仕事の生産性、効率性を向上させます。Zebra Technologies の RW シリーズ製品は、すべてワールドクラスのサポートが保証されており、バーコードプリンタ、ソフトウェア、消耗品など、お客様のニーズにいつでもお応えします。

- 本書には RW 220 または RW 420 プリンタの操作およびメンテナンスに必要な情報が記載されています。
- RW シリーズプリンタは CPCL プログラミング言語を使用します。CPCL 言語を使用したレシートやラベルの作成および印刷を行うには、***http://www.zebra.com*** から入手可能な Label Vista™ ラベル作成プログラムまたは「Mobile Printing Systems CPCL Programming Manual」を参照してください。
- RW シリーズ プリンタソフトウェアには、ZPL II® プログラミング言語（30.8.4 以前のバージョン）および EPL プログラミング言語用のインタプリタが含まれています。ZPL および EPL ラベル設計プログラミング言語に関するマニュアルも Zebra Technologies の Web サイトから入手していただけます。マニュアルやその他のユーザー情報へのアクセスおよびダウンロードに関する詳細は、本書の付録 E を参照してください。

パッケージの開封と確認

　配送時に損傷を受けていないかどうか、プリンタを確認してください。

- 本体表面に損傷がないかどうか確認します。
- メディアカバーを開き（「印刷準備」の項の「用紙の装填」を参照）、用紙コンパートメントに損傷がないかどうか確認します。

　返品が必要な場合に備え、段ボール箱やすべての包装材は保存しておいてください。

損傷の報告

　配送時に受けた損傷が見つかった場合：

- すぐに配送会社に通知して損害報告書を提出します。Zebra Technologies Corporation は、プリンタ配送時に発生する損傷の責任は負いません。また、この損傷の修理は保証には含まれません。
- 調査に備え、段ボール箱やすべての包装材は保存しておいてください。
- Zebra 認定販売代理店にご連絡ください。

バッテリーの取り扱いに関する注意事項

Zebra モバイルプリンタで使用されているバッテリーパックは高エネルギー密度であるため、不適切または不注意に使用するとケガを招いたり、発火したりする恐れがあります。以下の安全手順を守ってください。

注意 •バッテリーの不慮の短絡が起こらないように注意してください。バッテリーターミナルが導電材料と接触すると、短絡が生じ、やけどなどのケガを招いたり、発火したりする恐れがあります。

注意 • バッテリーは、不適切な方法で充電したり、高温または火にさらしたりすると爆発または発火する可能性があります。バッテリーを分解したり、破損したり、水につけたりしないでください。

*注意 • **Zebra** が認可していない充電器を使用すると、バッテリーパックまたはプリンタ本体を破損する恐れがあります。また、この場合、保証の適用外となります。*

充電器の取り扱いに関する注意事項

４連チャージャーの充電器を液体または金属物体が落下する場所に設置しないでください。

LI 72 *シングル充電器または４連チャージャーを設置する場合にはご注意ください。上面および底面カバーの換気スロットが遮られることのないようにしてください。バッテリーを夜間充電する場合、誤って電源が切られないように、充電器がしっかりと電源に接続されていることを確認します。*

図 3：RW 420 バッテリーの取り付け

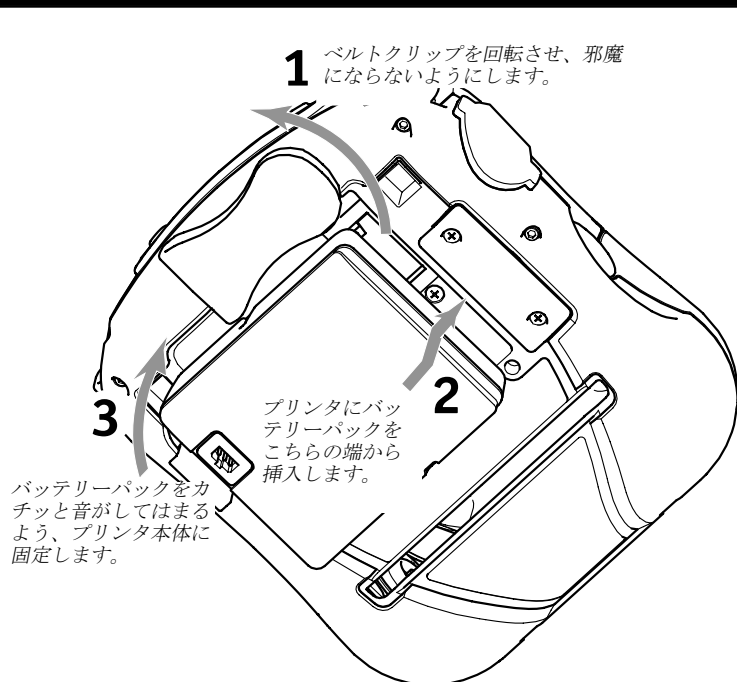
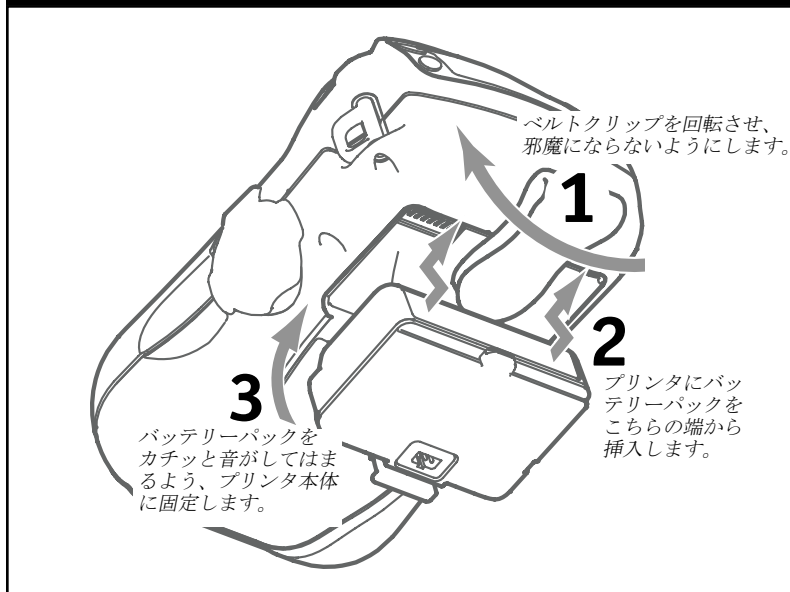



図 4：RW 220 バッテリーの取り付け

RW シリーズ バッテリーの取り付け

重要 • バッテリーは充電されていない状態で出荷されます。初めて使用する場合は、バッテリーパックの保護用収縮包装とラベルを外してください。

1. ベルトクリップを回転させ、バッテリーコンパートメントを開けることができる状態にします。これは RW 220 シリーズではオプションの手順です。
2. 図 3 または 4 に示すように、バッテリーをプリンタに挿入します。
3. 図のように、バッテリーを所定の位置で固定させます。

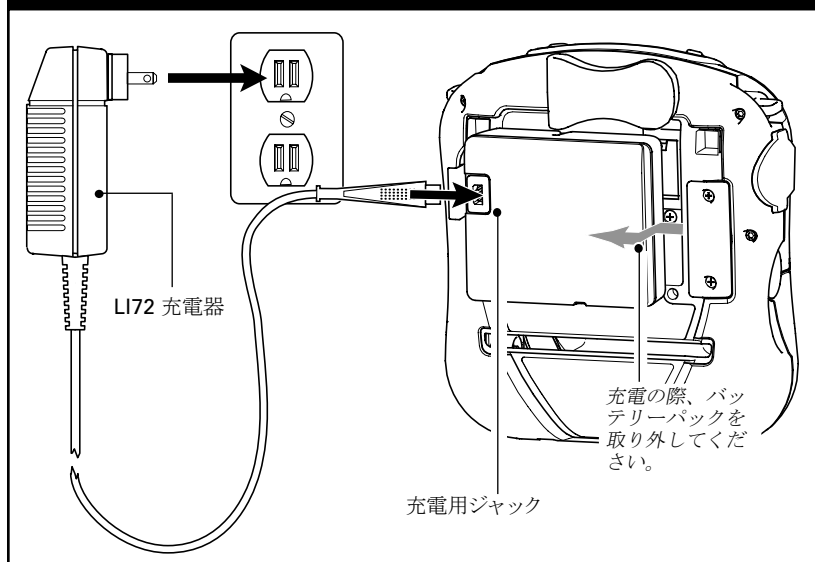
   バッテリーを初めて取り付ける場合、コントロールパネルのインジケータが一瞬、点灯することがあります。これはバッテリーが完全に充電されていないことを示します（以下の「バッテリーの充電」と「オペレータのコントロール」を参照）。

バッテリーの充電

LI 72 モデル シングルバッテリー充電器

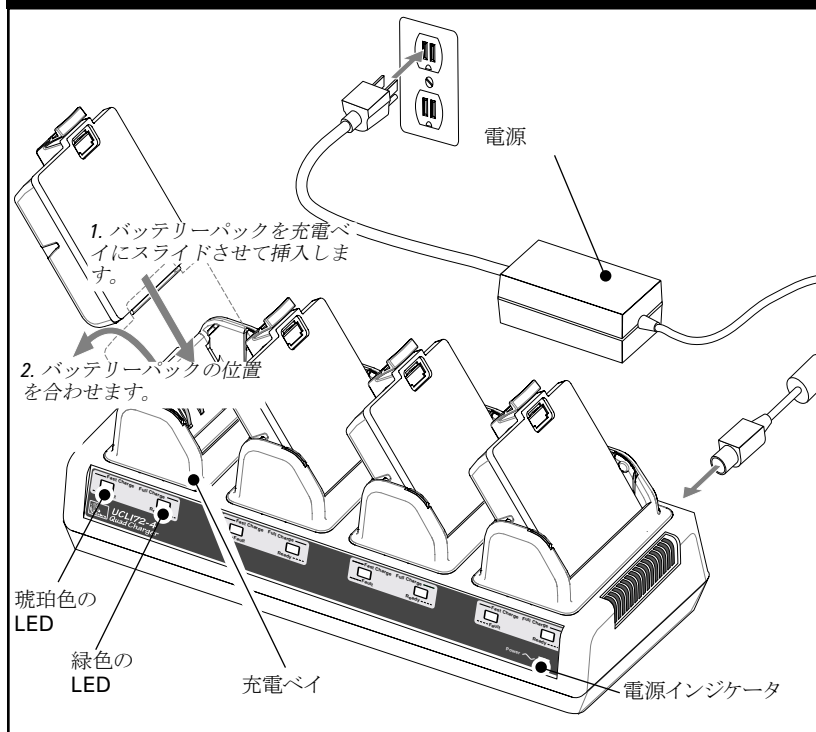
図 5 を参照してください。ご利用の充電器は図で示すものとは若干異なる場合があります。

1. 充電器の電源プラグを A.C. 壁コンセントに差し込みます。次に、充電ケーブルをバッテリーの充電ジャックに挿入します。
2. 充電器の LED は、以下のように各ステータスを示します。

図 5：LI 72 シングル充電器

- ランプが一定して点灯している場合は、バッテリーが高速充電中であることを示します。
- ランプがゆっくりと点滅する場合は、充電器が細流充電モードになっていることを示します。バッテリーは使用可能な状態です。
- ランプがすばやく点滅する場合は、バッテリーに問題があることを示します。バッテリーが内部短絡しているか、充電監視回路が故障している可能性があります。この場合は、バッテリーの使用を中止してください。

*注記 • **LI 72** 充電器では、プリンタに取り付けられている状態でバッテリーパックを充電できますが、最良の充電結果を得るには、バッテリーを取り外した状態で充電してください。*

*注意 • **LI 72** 充電器でのバッテリーの充電中は、印刷を行わないでください。*

図 6:UCLI72-4 4連チャージャー

UCLI72-4 モデル ４連チャージャー

UCLI72-4 ４連チャージャーは、RW シリーズ バッテリーパックを最高 4 台まで同時に充電できるように設計されています。４連チャージャーで充電する場合は、バッテリーをプリンタから取り外す必要があります。

1. ４連チャージャーの操作マニュアルに従って、チャージャーを正しく取り付けます。前面パネルの電源インジケータがオンになっているか確認してください。
2. 初めて使用する場合は、バッテリーパックの保護用収縮包装とラベルをすべて外します。図 6 に示すように、バッテリーパックの方向に注意して 4 つの充電ベイのうちのいずれかに差し込みます。バッテリーパックを充電ベイにスライドさせ、所定の位置に固定させます。次に、カチッと音がしてはまるまでバッテリーパックを逆方向に少し動かします。バッテリーが正しく挿入されている場合、充電されるバッテリーのすぐ下の琥珀色のインジケータがオンになります。

以下の表に示すように、バッテリーのすぐ下のインジケータによって充電プロセスを監視できます:

バッテリーステータス インジケータ		
琥珀色の LED	緑色の LED	バッテリーステータス
オン	オフ	充電中
オン	点滅	80% 充電完了（使用可）
オフ	オン	100% 充電完了
点滅	オフ	失敗

重要 • 失敗状態はバッテリーの問題が原因です。充電器は、バッテリーが充電を行うには高温または低温すぎる場合に失敗状態を示すことがあります。バッテリーを室温に戻してから、再度充電を行ってください。2 回目も琥珀色のインジケータが点滅する場合は、このバッテリーを処分する必要があります。バッテリーを処分する際は、常に適切な方法で行ってください。付録 D を参照してください。

４連チャージャー サイクルタイム:

	RW 420	RW 220
80% 充電	2.5 時間	1.25 時間
100 % 充電	5 時間	2.5 時間

注記 • 上記の充電時間は、完全に放電されたバッテリーの場合です。

次のページ

一部放電された状態のバッテリーパックの場合は、完全に充電された状態になるまで、上記の時間よりも短い時間で充電できます。バッテリーパックは、充電容量の 80% に達したら使用可能です。ただし、バッテリー寿命を最大限に保つには完全に充電することを推奨します。

UCLI72-4 ４連チャージャーには、充電状態に関係なく 6 時間後にバッテリーの充電を停止するという安全機能が付いています。

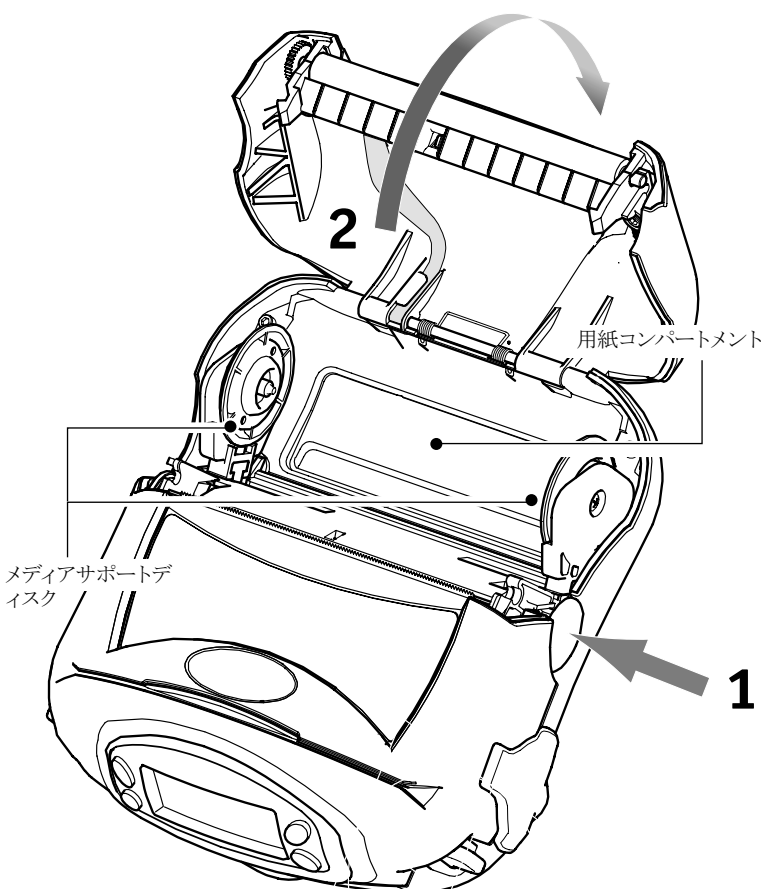
用紙の装填

RW シリーズ プリンタは連続（ジャーナル）用紙、またはラベルストックの印刷を行うように設計されています。

用紙の装填手順

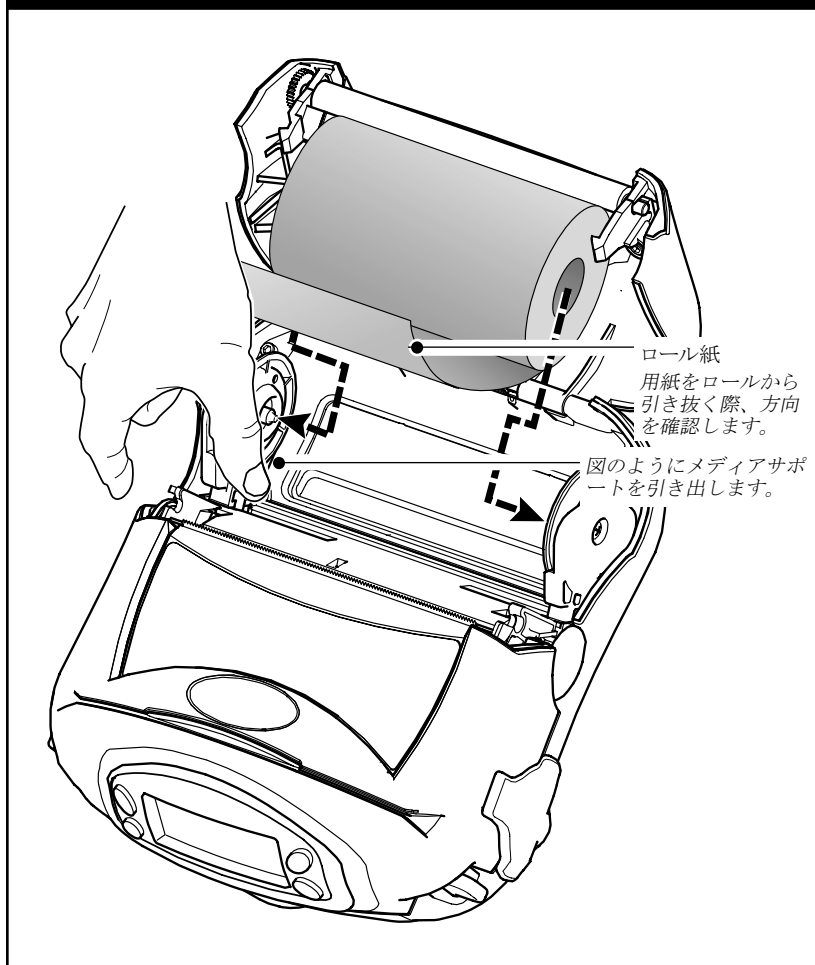
1. プリンタを開きます。図 7 を参照します。
- 図の「1」のように、プリンタ横のラッチ解放ボタンを押します。メディアカバーが自動的に開きます。
- 「2」のようにメディアカバーを完全に後方に回すと、用紙コンパートメントおよび調整可能なメディアサポートが露出します。

図 7:プリンタを開く

RW 420 プリンタ。

次のページ

内部供給からの用紙の装填

- 図 8 を参照します。図のようにメディアサポートを引いてすき間ができるようにします。このすき間にロール紙を挿入した後、メディアサポートを離します。メディアサポートが自然に閉じます。図 8 で示す方向に用紙が引き出されること、サポートが用紙の幅に合わせて調整されていること、さらに、ロール紙がサポート上で自由に回転できることを確認します。

図 8: 内部供給からの用紙の装填

外部供給からの用紙の装填

*注記 • 外部用紙供給対応機種は **RW 420** のみです。*

図 9 を参照します。外部用紙オプション設定のある RW 420 の場合、用紙コンパートメントの後部に取り付けスロットが付いており、外部供給からの標準 101.6 mm(4 インチ)幅の連続式用紙を使用することができます。外部供給は、プリンタに給紙される際に用紙が過度に引っ張られ、歪んで印刷されることがないように設計されている必要があります。

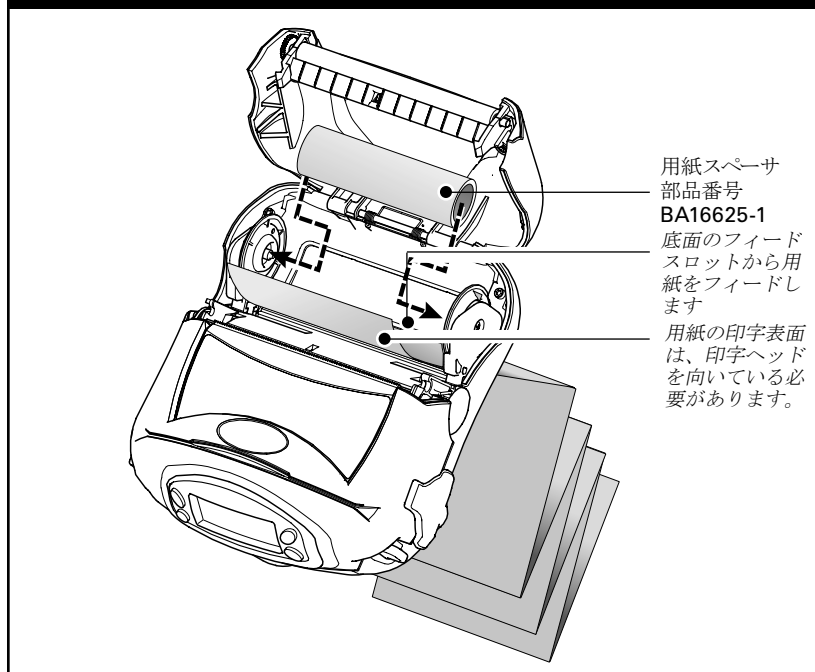
Zebra では、外部用紙供給ビン取り付けが可能な RW 420(部品番号 AK17463-003 および AK17463-004)対応車載クレードルシリーズを提供しています。

- メディアサポートを引いてすき間ができるようにし、そのすき間に用紙スペーサ(Zebra 部品番号 BA16625-1)を挿入した後、メディアサポートを離します。メディアサポートが自然に閉じます。図のように、外部供給から後部のフィードスロットを通り、用紙ガイド間を抜けて用紙コンパートメントまで通るように用紙を挿入します。

図 9:外部供給からの用紙の装填

用紙スペーサ
部品番号
BA16625-1

底面のフィードスロットから用紙をフィードします

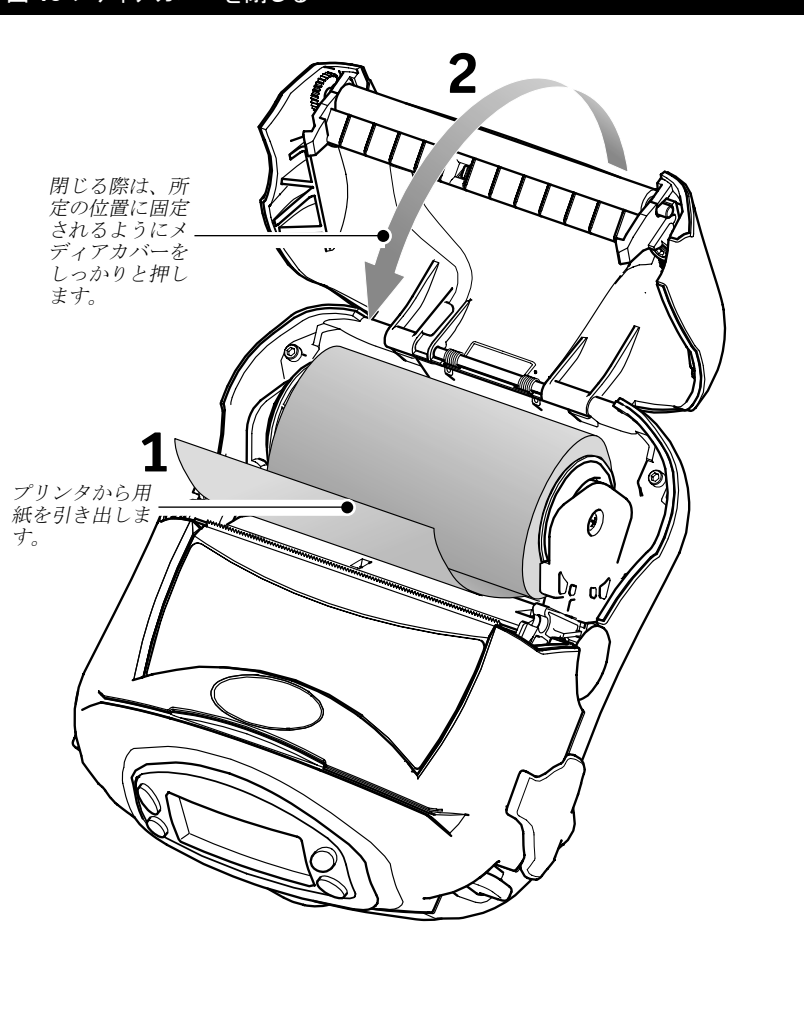
用紙の印字表面は、印字ヘッドを向いている必要があります。

次のページ

印字する用紙の面が印字ヘッド側に向くようにします。

4. メディアカバーを閉じます。図 10 を参照します。

- 「1」のように、メディアカバーをプリンタから引き出します。
- 「2」のように、メディアカバーを閉じ、カチッと音がしてはまる位置に固定させます。
- プリンタをオンにするか、またはプリンタがすでにオンになっている場合はフィードボタンを押します。

プリンタが用紙を少しフィードします。これで、印刷準備が完了しました。

図 10:メディアカバーを閉じる

オペレータコントロール

コントロールパネル

コントロールパネルには、電源切り替えボタン、用紙フィードボタン、およびプリンタ機能に関する情報を表示するディスプレイが付いています。2 つのキーを使用して、プリンタ機能に影響するメニューオプションを簡単に表示および選択できます。

スクロールボタンを使用すると、オプションや設定をスクロールできます。選択ボタンを使用すると、画面に表示されるオプションや機能を選択できます。

図 11：LCD コントロールパネル

画面の上部にプリンタ機能の状態を示す一連のステータスアイコンが表示されます。

Bluetooth 接続が確立されていることを示します。このアイコンが点滅している場合、データ転送中であることを示します。このアイコンは Bluetooth ワイヤレスオプションがインストールされている RW シリーズのプリンタでのみ機能します。

プリンタが 802.11*x* 準拠の無線通信を使用したワイヤレス LAN に接続されていることを示します。このアイコンは WLAN ワイヤレスオプションがインストールされている RW シリーズのプリンタでのみ機能します。

このアイコンが点滅している場合、バッテリー低下状態を示します。すべての印字操作を中断し、すぐにバッテリーパックを充電または交換してください。

このアイコンが点滅している場合、メディアカバーが開いている、または正しく固定されていないことを示します。

このアイコンが点滅している場合、通常の印刷処理中であることを示します。

このアイコンが点滅している場合、ファイルがプリンタからダウンロード中であることを示します。

このアイコンが点滅している場合、プリンタがいずれの用紙を検出していないことを示します。これは用紙がないか、または用紙が不適切に装填されていることを示します。

プログラム可能 LCD 設定

コントロールパネルの LCD には、ステータスアイコンに加え、プリンタアプリケーションによって決定されるテキストとして多くのプリンタ設定と機能を表示できます。ユーザーがディスプレイのスクロールキーや選択キーを使ってこれらの設定を参照して修正できるようにアプリケーションを記述できます。LCD で表示するためにプログラム可能な一部のプリンタ機能については、以下のページの表を参照してください。

LCD には、暗い環境で画面を見ることができるようにするバックライトオプションが付いており、また、明るい環境向けには、コントラストをはっきりさせることができます。ディスプレイのバックライトを使用すると、1 回の充電でプリンタが稼動し続ける時間が短くなります。詳細は「バッテリー寿命を伸ばす」の項を参照してください。

拡張 LCD 機能[1]		
機能	デフォルト設定	スクロール & 選択オプシ
センサータイプ	Bar	• Bar • Gap
ボーレート	19200	• 9600 • 19200 • 32400 • 57600 • 115200
データビット	8	• 7 • 8
パリティ	N（なし）	• E（偶数） • N（なし） • O（奇数）
LCD コントラスト	8	• Increase（最大 15） • Decrease（最大 15）
操作なしの タイムアウト	120 sec.	• Decrease（最小 0）[2] • Increase（最大 120）
画面反転	Off	• Off • On（プリンタがクレードルにある場合、ディスプレイの 4 つのテキスト行は 180 ° 反転します。アイコンは変わりません。）
音声ボリューム	3	• 1 – 低 • 2 – 中 • 3 – 高
用紙タイプ	Journal	• Label • Journal
LCD バックライト[3]	Momentary On	• Momentary On w/ time delay • Off
工場出荷時設定リセット (すべてを工場出荷時設定値にリセット)	No	• No • Yes

注記:

1. LCD メニューオプションは、それぞれ特定のアプリケーションコントロール下にあります。ご利用のプリンタのアプリケーションでは利用できないオプションもあります。

2. No-activity timeout 値が「0」の場合、オペレータがプリンタの電源がオフにするまで電源がオンのままであることを示します。

3. LCD バックライトは FEED（フィード）以外のキーを押すとオンになります。

からアクセスできないディスプレイ機能[1]		
機能	デフォルト設定	スクロール＆選択オプ
WLAN ID[2]	Factory Set Value	なし
切り取り位置（フォーム上部）	00	• Increase（最大 = +10） • Decrease（最小 =-120）
ネットワーク & RF 設定		• All protocols On • 個別に Protocols On または Off
ブリッジモード	Off	• Off • On
DTR/VBUS 電源オフ	Off	• On • Off
表示位置	000	• Increase（最大 = +120） • Decrease（最小 = 000）
Bluetooth パラメータ	なし	現在の Bluetooth 操作パラメータを表示
802.11b WLAN パラメータ	なし	現在の 802.11b 操作パラメータを表示
用紙タイプ	Journal	• Journal • Label
Smart Card または MSR カードリーダー ステータス[3]	Off	• Off • Display “RDR”

注記：

1. この表に示すパラメータはディスプレイに表示されますが、設定は Zebra の Label Vista ラベル作成プログラムを実行している PC を使用し、プリンタにデータケーブル接続されている場合にのみ行うことができます。

2. Zebra の Label Vista ラベル作成プログラムが実行している PC 、およびプリンタへのデータケーブル接続を使用して、工場出荷時設定を調整できます。

3. カードリーダー ステータスはアプリケーションコントロールの下にあり、ユーザーは選択できません。

プリンタが動作するか確認する

プリンタをコンピュータまたは携帯データ端末に接続する前に、プリンタが適切な動作状態であるかどうかを確認してください。動作を確認するには、2 つのキーセットを使用してコンフィグレーションラベルを印字します。このラベルが印字されない場合は、「トラブルシューティング」を参照してください。

コンフィグレーションラベルの印字

1. プリンタの電源をオフにします。用紙コンパートメントにジャーナル用紙（背面にブラックバーが印字されていないもの）を装填します。
2. フィードボタンを押したままにします。
3. 電源ボタンを押して離し、フィードボタンを押したままにします。印字が開始されたら、フィードボタンを離します。

セルフテストでは、印字ヘッドのすべてのエレメントが動作することを確認できるように、「x」文字が連続して印刷され、プリンタにロードされているソフトウェアのバージョンが印刷された後、次に 2 つのレポートが印刷されます。

最初のレポートにはモデル、ROM バージョン、シリアル番号、ボーレートなどが印刷され、2 番目のレポートにはプリンタ設定およびパラメータ設定の詳細情報が印刷されます。2 番目のレポートが出力されない場合は、いずれのアプリケーションもインストールされていません。（サンプルプリントアウト、および診断ツールとしてのコンフィグレーションラベルの使用方法の詳細は、「トラブルシューティング」の項を参照してください。）

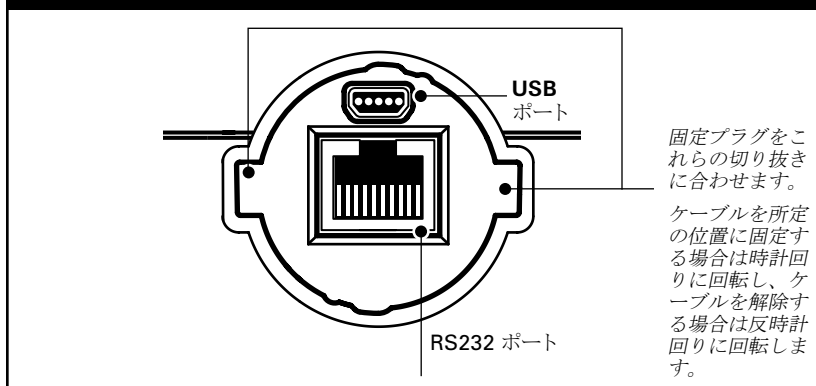
プリンタの接続

プリンタと印字するデータの送信先となるホスト端末との間に通信を確立する必要があります。通信は次の 3 つの基本的な方法で行われます:

- RS232C または USB プロトコルの使用によるプリンタとホスト端末間のケーブル接続
- Bluetooth 短距離 RF 接続
- 802.11b 仕様準拠のワイヤレス LAN 接続

ケーブル通信

注意 • 通信ケーブルに接続または接続を切断する前にプリンタをオフにする必要があります。

図 12:通信ポート

シリアル (RS232C)

*注記 • すべての **RW** シリーズ プリンタではケーブル通信が可能です。ご利用のプリンタに付属している特定のケーブルはホスト端末によって異なります。*

通信ケーブルの 10 ピン モジュラーコネクタは、プリンタ側面のシリアル (RS232C) 通信ポートに接続されます。 コネクタを RS232C ポートに接続し、所定の位置で固定されるようにします。次に、固定プラグをコネクタ周囲の開口部に押し付け、プリンタケースの切り抜きと合わせます。 固定プラグを時計回りに 4 分の 1 回して固定します。

ケーブルのもう一方の端は図 13 のようにホスト端末に差し込むか、図 14 のようにコンピュータのシリアルポートに差し込みます。端末とプリンタ間の通信は端末とプリンタ上で実行されるアプリケーションで制御されます。

USB

RW シリーズ プリンタでは、USB プロトコルによるケーブル通信も可能です。USB ポートは RS232C 通信用に使用される 10 ピン モジュラーコネクタ上に直接配置された USB Mini-AB タイプ コネクタです。（図 12 参照）

図 13：端末との通信

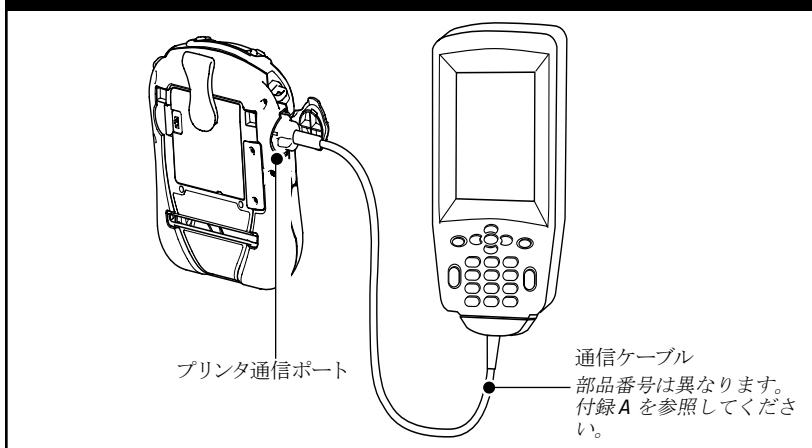
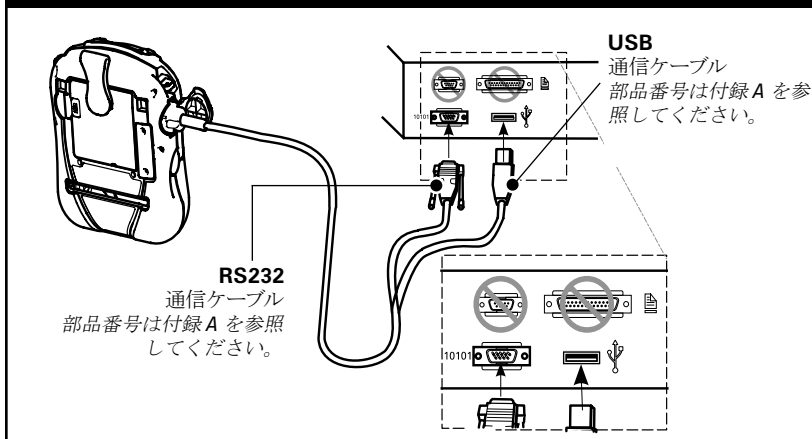



図 14：PC との通信

次のページ

RW シリーズは USB Open HCI インタフェース ドライバで設定され、Windows® ベースの機器と通信を行うことができます。USB ドライバは www.zebra.com からダウンロード可能な Zebra ユニバーサルドライバに含まれています。その他の端末または通信機器については、USB 接続を使用するための特別なドライバのインストールが必要となることがあります。詳細は Zebra 販売代理店または出荷元にお問い合わせください。

ワイヤレス通信

Bluetooth® によるワイヤレス通信

Bluetooth は、無線周波数を介した 2 つの機器間のデータ転送の世界標準規格です。Bluetooth 無線通信は比較的低電力であり、同様の無線周波数で動作する他の機器との干渉を防ぐのに役立ちます。これにより、Bluetooth 機器の範囲は約 10 メートル（約 32 フィート）に制限されます。

プリンタと通信先の機器がともに Bluetooth 標準規格に準拠している必要があります。

Bluetooth ネットワークの概要

Bluetooth 対応 RW シリーズ プリンタには、それぞれ製造時に固有の Bluetooth Device Address (BDA) が無線モジュールに搭載されています。

Bluetooth ソフトウェアは、常時バックグラウンドで動作し、接続要求に応答できる準備ができています。1 つの機器（「マスター」または「クライアント」）側から、通信先に接続を要求します。2 番目の機器（「スレーブ」または「サーバー」）は、接続を許可または拒否します。Bluetooth 対応 RW シリーズ プリンタは、通常スレーブとして「piconet」と呼ばれる端末とのミニネットワークを構築します。

大部分では Bluetooth を使用する通信が開始され、オペレータの介入なしに処理されます。

RW 420 プリンタには Bluetooth および 802.11b 無線通信が搭載されており、Bluetooth 対応機器とワイヤレス LAN (WLAN) の両方の通信が可能です（以下を参照）。

ワイヤレス LAN の概要

RW シリーズ プリンタは業界標準の 802.11 WLAN プロトコルを使用するいくつかの無線オプションが搭載されているものもあります。

- Compact Flash (CF) 無線モジュール搭載の RW シリーズ プリンタは、本体背面のシリアル番号ラベルに記載されている FCC ID

番号「I28MD-RW4137」およびその他の規制情報で識別できます。

- Zebra Value Radio 802.11b 搭載の RW シリーズ プリンタは、本体背面のシリアル番号ラベルに記載されている FCC ID 番号「I28MD-ZLAN11B」およびその他の規制情報で識別できます。
- 802.11b WLAN と Bluetooth 無線の両方を同一のプリンタで稼動可能な RW 420 プリンタはデュアル無線機器と見なされます。現時点では、RW 420 のみ、 Bluetooth 無線通信 FCC ID 「I28MD-BTC2TY3」と 802.11b Compact Flash 無線通信 FCC ID 「I28MD-RW4137」のデュアル無線コンフィグレーションが提供されています。両無線通信の FCC ID 番号および他の規制情報は、RW 420 の背面にあるシリアル番号ラベルに記載されています。

無線オプション搭載プリンタは WLAN 内のノードとしてワイヤレス通信が可能となり、このワイヤレス機能によって WLAN 周辺の任意のポイントからの通信が可能となります。Bluetooth と 802.11b WLAN 無線通信設定が搭載されているプリンタは、WLAN と Bluetooth ネットワークの両方に同時に接続できます。

RW シリーズ プリンタと通信を確立する方法は LAN アプリケーションによって異なります。WLAN 通信を確立するための一般情報は www.zebra.com から入手可能な「CPCL Programmers Manual」または「Quick Start Guide for Mobile Wireless Printers」に記載されています。詳細および LAN 設定ユーティリティも Zebra の Label Vista™ プログラム（バージョン 2.8 以降）に含まれています。Label Vista は Zebra の Web サイト www.zebra.com からダウンロードできます。

ソフトウェアのセットアップ

RW シリーズ プリンタは、モバイル印刷アプリケーション用に設計された Zebra の CPCL プログラミング言語を使用します。CPCL は、www.zebra.com から入手可能な「CPCL Programmers Manual」に詳細に説明されています。

また、Zebra の Windows® ベースのラベル作成プログラムである Label Vista™ のグラフィカルインタフェースを使用して、CPCL 言語でラベルを作成および編集することもできます。Label Vista は www.zebra.com からオンラインで入手できます。

次のページ

RW シリーズ プリンタは ZPL II®、または EPL プログラミング言語のインタプリタをサポートします。ZPL II または EPL を使用する場合は、Zebra の Web サイトからオンラインで入手可能なそれぞれのプログラミングガイドを参照してください。サードパーティのラベル作成システムを使用する場合は、各パッケージに含まれているインストール手順に従ってください。

無線通信規制情報

Bluetooth RW -ZBR3 無線通信 (RW 220 および RW 420)

注意 • 高周波への暴露。

*この内蔵 **Bluetooth** 無線の放射量は **FCC**無線周波暴露制限を大幅に下回っています。内蔵 **Bluetooth** 無線は無線周波安全推奨基準内で動作します。プリンタは、不正な方法で使用しないでください。*

*注記 • 以下の項は **RW-ZBR3 Bluetooth** 無線 **(FCC ID:I28MD-BTC2TY3)** が **RW** シリーズ プリンタにインストールされている場合にのみ該当します。本書内で別の記載がない限り、この通信機用のアンテナをその他のアンテナと同じ場所に配置したり、同時に使用したりしないでください。*

RW-ZBR3 Bluetooth 無線通信に関する欧州規制情報

この機器は EU および EFTA の全加盟国における使用を意図しています。

ヨーロッパ – EU 適合宣言書

この機器は R&TTE 指令 1999/5/EC の必須要求に準拠しています。R&TTE 指令 1999/5/EC を準拠していることを証明するため、以下の試験方法が適用されています。

- EN 60950: 2000
  情報技術機器の安全
- EN 300 328-2 V1.4.1 (2003-04)
  拡散スペクトル無線機器の技術要件
- EN 301 489-1/-17 V1.4.1/1.2.1 (2002-08)
  拡散スペクトル無線機器の電磁両立性要件

この機器は、EU および EFTA の全加盟国における室内および業務使用を目的とした2.4 GHz ワイヤレス LAN 通信機です。

	重要事項: この機器は EU および EFTA の全加盟国における 業務使用を目的としたモバイル RF プリンタです。

Compact Flash (802.11b) 無線通信モジュール

以下の項は CF (Compact Flash) WLAN モジュール (FCC ID: I228MD-RW4137) が RW シリーズ プリンタにインストールされている場合にのみ該当します。FCC ID 番号はプリンタ背面のシリアル番号ラベルに記載されており、インストールされているモジュールで読み取られます。本書内に別記の条件がない限り、無線通信オプションは同時に 1 つだけプリンタにインストールすることができます。また、この通信機に使用されるアンテナをその他のアンテナと同じ場所に配置したり、同時に使用したりしないでください。

***注意 •** 「**FCC ID: I28MD-RW4137**」のラベルが付いている無線モジュール搭載の **RW** シリーズ プリンタの使用は、最低限の距離を保つ必要がなく標準的な身体装着設定で、無線周波 **(RF)** 放射暴露の **FCC** 要件を満たしています。ベルトクリップまたはショルダーストラップの使用に適用されるこの設定では、用紙が給紙されるプリンタの表面がユーザーの身体と逆方向を向くようにします。プリンタを身体に装着する場合は標準設定が常に使用されます。*

*この無線オプション搭載の **RW 220** プリンタは **SAR** 試験済みです。各モデルで測定する最大 **SAR** 値は **1** グラムに対して平均 **0.011527 W/g** でした。*

*この無線オプション搭載の **RW 420** プリンタは **SAR** 試験済みです。各モデルで測定する最大 **SAR** 値は **1** グラムに対して平均 **0.062 W/kg** でした。*

この無線通信に関するヨーロッパ規制情報

AT	BE	CY	CZ	DK
EE	FI	~~FR~~	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT
LU	MT	NL	PL	PT
SK	SI	ES	SE	GB

注記：- この機器の使用について規制を課している EU 加盟国には取り消し線が引かれています。
また、この機器は EFTA の全加盟国での使用も認可されています (**CH**、**IS**、**LI**、**NO**)。

CE 0336

重要事項：
この機器は規制が適用されるフランスを除く、EU および EFTA の全加盟国での業務使用を目的としたモバイル RF プリンタです。

ヨーロッパ – EU 適合宣言書

この機器は R&TTE 指令 1999/5/EC の必須要求に準拠しています。R&TTE 指令 1999/5/EC を準拠していることを証明するため、以下の試験方法が適用されています。

- EN 60950: 2000

情報技術機器の安全

- EN 300 328-2 V1.2.1 (2001-12)

拡散スペクトル無線機器の技術要件

- EN 301 489-17 V1.2.1 (2002-08)

拡散スペクトル無線機器の電磁両立性要件

この機器は、使用が規制されているフランスを除く、EU および EFTA の全加盟国における室内および業務使用を目的とした 2.4 GHz ワイヤレス LAN 通信機です。

フランスでは、この周波数帯の使用は制限されています。以下の表に示す 1-13 (2412-2472 MHz) を使用できるフランス局を除いて、フランス領ではチャネル 10 と 11 (2457 と 2462 MHz) のみを使用できます。詳細は http://www.anfr.fr/ または http://www.art-telecom.fr を参照してください。

01	アン	36	アンドル	69	ローヌ
02	エーヌ	37	アンドル・エ・ロアール	70	オート・ソーヌ
03	アリエ	39	ジュラ	71	ソーヌ・エ・ロワール
05	オート・アルプ	41	ロワール・エ・シェール	72	サルト
08	アルデンヌ	42	ロワール	75	パリ
09	アリエージュ	45	ロワレ	77	セーヌ・エ・マルヌ
10	オーブ	50	マンシュ	78	イヴリーヌ
11	オード	54	ムルト・エ・モゼル	79	ドュー・セーヴル
12	アヴェロン	55	ムーズ	82	タルヌ・エ・ガロンヌ
16	シャラント	57	モゼル	84	ヴォクリューズ
19	コレーズ	58	ニエーヴル	86	ヴィエンヌ
2A	コルス・デュ・シュド	59	ノール	88	ヴォージュ
2B	オートコルス	60	オワーズ	89	ヨンヌ
21	コート・ドール	61	オルヌ	90	テリトワール・ド・ベルフォール
24	ドルドーニュ	63	ピュイ・ド・ドーム	91	エソンヌ
25	ドゥー	64	ピレネー・アトランティック	92	オー・ド・セーヌ
26	ドローム	65	オート・ピレネー	93	セーヌ・サン・ドニ
27	ウール	66	ピレネー・オリアンタル	94	ヴァル・ド・マルヌ
32	ジェール	67	バ・ラン		
35	イル・エ・ヴィレーヌ	68	オー・ラン		

Zebra Value Radio 802.11b

以下の項は Zebra Value Radio 802.11b (FCC ID:I28MD-ZLAN11B) が RW シリーズ プリンタにインストールされている場合にのみ該当します。FCC ID 番号はプリンタ背面のシリアル番号ラベルに記載されており、インストールされているモジュールで読み取られます。本書内に別記の条件がない限り、無線通信オプションは同時に 1 つだけプリンタにインストールすることができます。また、この通信機に使用されるアンテナをその他のアンテナと同じ場所に配置したり、同時に使用したりしないでください。

*注意 • この内蔵 **802.11b** 無線の放射量は **FCC** 無線周波暴露制限を大幅に下回っています。しかし、この無線通信ではアンテナを人体から **2.5cm** 離して使用してください。このプリンタに内蔵されている無線とアンテナは、アンテナと人体との距離が **2.5cm** 保たれるように、プリンタの背面を人体に向けて装着し、プリンタの前面(給紙される側)を人体から遠ざけるようにします。プリンタは、不正な方法で使用しないでください。*

この無線通信に関するヨーロッパ規制情報

AT	BE	CY	CZ	DK
EE	FI	~~FR~~	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT
LU	MT	NL	PL	PT
SK	SI	ES	SE	GB

注記:- この機器の使用について規制を課している EU 加盟国には取り消し線が引かれています。
また、この機器は EFTA の全加盟国での使用も認可されています (**CH**、**IS**、**LI**、**NO**)。

CE 0336 ⓘ	**重要事項**: この機器は規制が適用されるフランスを除く、EU および EFTA の全加盟国での業務使用を目的としたモバイル RF プリンタです

ヨーロッパ – EU 適合宣言書

この機器は R&TTE 指令 1999/5/EC の必須要求に準拠しています。R&TTE 指令 1999/5/EC を準拠していることを証明するため、以下の試験方法が適用されています。

- EN 60950: 2000

情報技術機器の安全

- EN 300 328-2 V1.2.1 (2001-12)

拡散スペクトル無線機器の技術要件

- EN 301 489-17 V1.2.1 (2002-08)

拡散スペクトル無線機器の電磁両立性要件

この機器は、使用が規制されているフランスを除く、EU および EFTA の全加盟国における室内および業務使用を目的とした 2.4 GHz ワイヤレス LAN 通信機です。

フランスでは、この周波数帯の使用は制限されています。以下の表に示す 1-13 (2412-2472 MHz) を使用できるフランス局を除いて、フランス領ではチャネル 10 と 11 (2457 と 2462 MHz) のみを使用できます。詳細は http://www.anfr.fr/ または http://www.art-telecom.fr を参照してください。

01	アン	36	アンドル	69	ローヌ
02	エーヌ	37	アンドル・エ・ロアール	70	オート・ソーヌ
03	アリエ	39	ジュラ	71	ソーヌ・エ・ロワール
05	オート・アルプ	41	ロワール・エ・シェール	72	サルト
08	アルデンヌ	42	ロワール	75	パリ
09	アリエージュ	45	ロワレ	77	セーヌ・エ・マルヌ
10	オーブ	50	マンシュ	78	イヴリーヌ
11	オード	54	ムルト・エ・モゼル	79	ドュー・セーヴル
12	アヴェロン	55	ムーズ	82	タルヌ・エ・ガロンヌ
16	シャラント	57	モゼル	84	ヴォクリューズ
19	コレーズ	58	ニエーヴル	86	ヴィエンヌ
2A	コルス・デュ・シュド	59	ノール	88	ヴォージュ
2B	オートコルス	60	オワーズ	89	ヨンヌ
21	コート・ドール	61	オルヌ	90	テリトワール・ド・ベルフォール
24	ドルドーニュ	63	ピュイ・ド・ドーム	91	エソンヌ
25	ドゥー	64	ピレネー・アトランティック	92	オー・ド・セーヌ
26	ドローム	65	オート・ピレネー	93	セーヌ・サン・ドニ
27	ウール	66	ピレネー・オリアンタル	94	ヴァル・ド・マルヌ
32	ジェール	67	バ・ラン		
35	イル・エ・ヴィレーヌ	68	オー・ラン		

Compact Flash (802.11b) および Bluetooth 併用無線通信モジュール

以下の項は CF (Compact Flash) WLANモジュール (FCC ID:I28MD-RW4137) および Bluetooth モジュール (FCC ID:I28MD-BTC2TY3) が RW 420 プリンタにインストールされている場合にのみ該当します。この併用無線通信設定は、FCC 規制準拠を実証しています。FCC ID 番号はプリンタ背面のシリアル番号ラベルに記載されており、インストールされているモジュールで読み取られます。

*注意 • 「**FCC ID:I28MD-RW4137**」および「**I28MD-BTC2TY3**」のラベルが付いている無線モジュール搭載の **RW** シリーズ プリンタの使用は、最低限の距離を保つ必要がなく標準的な身体装着設定で、無線周波 **(RF)** 放射暴露の **FCC** 要件を満たしています。ベルトクリップまたはショルダーストラップの使用に適用されるこの設定では、用紙が給紙されるプリンタの表面がユーザーの身体と逆方向を向くようにします。プリンタを身体に装着する場合は標準設定が常に使用されます。この無線オプション搭載の **RW 420** プリンタは **SAR** 試験済みです。各モデルで測定する最大 **SAR** 値は **1** グラムに対して平均 **0.28 W/kg** でした。*

Compact Flash 802.11b および Bluetooth 併用無線通信モジュールに関するヨーロッパ規制情報

AT	BE	CY	CZ	DK
EE	FI	~~FR~~	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT
LU	MT	NL	PL	PT
SK	SI	ES	SE	GB

注記:- この機器の使用について規制を課している EU 加盟国には取り消し線が引かれています。
また、この機器は EFTA の全加盟国での使用も認可されています (**CH**、**IS**、**LI**、**NO**)。

ヨーロッパ – EU 適合宣言書

この機器は R&TTE 指令 1999/5/EC の必須要求に準拠しています。R&TTE 指令 1999/5/EC を準拠していることを証明するため、以下の試験方法が適用されています。

- EN 60950: 2000

情報技術機器の安全

- EN 300 328-2 V1.2.1 (2001-12)

拡散スペクトル無線機器の技術要件

- EN 301 489-17 V1.2.1 (2002-08)

拡散スペクトル無線機器の電磁両立性要件

この機器は、使用が規制されているフランスを除く、EU および EFTA の全加盟国における室内および業務使用を目的とした 2.4 GHz ワイヤレス LAN 通信機です。

重要事項:
この機器は規制が適用されるフランスを除く、EU および EFTA の全加盟国での業務使用を目的としたモバイル RF プリンタです。

フランスでは、この周波数帯の使用は制限されています。以下の表に示す 1-13 (2412-2472 MHz) を使用できるフランス局を除いて、フランス領ではチャネル 10 と 11 (2457 と 2462 MHz) のみを使用できます。詳細は http://www.anfr.fr/ または http://www.art-telecom.fr を参照してください。

01	アン	36	アンドル	69	ローヌ
02	エーヌ	37	アンドル・エ・ロアール	70	オート・ソーヌ
03	アリエ	39	ジュラ	71	ソーヌ・エ・ロワール
05	オート・アルプ	41	ロワール・エ・シェール	72	サルト
08	アルデンヌ	42	ロワール	75	パリ
09	アリエージュ	45	ロワレ	77	セーヌ・エ・マルヌ
10	オーブ	50	マンシュ	78	イヴリーヌ
11	オード	54	ムルト・エ・モゼル	79	ドュー・セーヴル
12	アヴェロン	55	ムーズ	82	タルヌ・エ・ガロンヌ
16	シャラント	57	モゼル	84	ヴォクリューズ
19	コレーズ	58	ニエーヴル	86	ヴィエンヌ
2A	コルス・デュ・シュド	59	ノール	88	ヴォージュ
2B	オートコルス	60	オワーズ	89	ヨンヌ
21	コート・ドール	61	オルヌ	90	テリトワール・ド・ベルフォール
24	ドルドーニュ	63	ピュイ・ド・ドーム	91	エソンヌ
25	ドゥー	64	ピレネー・アトランティック	92	オー・ド・セーヌ
26	ドローム	65	オート・ピレネー	93	セーヌ・サン・ドニ
27	ウール	66	ピレネー・オリアンタル	94	ヴァル・ド・マルヌ
32	ジェール	67	バ・ラン		
35	イル・エ・ヴィレーヌ	68	オー・ラン		

カードリーダー オプション

RW シリーズには、オプションの磁気ストライプおよび Smart Card リーダーが搭載されています。磁気ストライプカードリーダーを使用すると、クレジットカードなどの磁気ストライプカードをプリンタのスロットに通し、カード情報を読み取って処理することができます。

同様に、Smart Card リーダーは Smart Card に埋め込まれたマイクロチップに書き込まれた情報を読み取り、チップの情報をプリンタのアプリケーションに従ってさまざまな方法で処理することができます。

図 15：磁気ストライプリーダー ステータスインジケータ

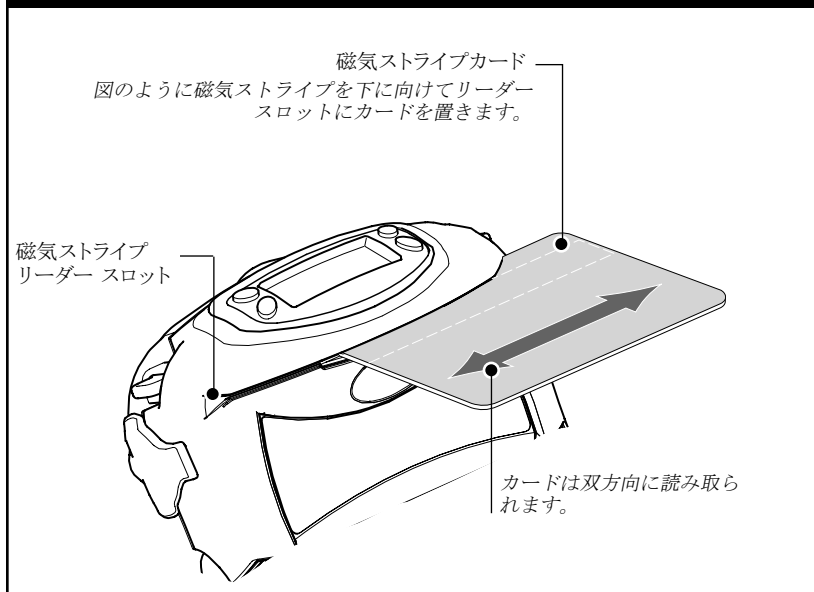
磁気ストライプリーダー

磁気ストライプリーダー (MSR) のステータスは以下の 3 つの方法で示されます。

- 図 15 のようにメインメニュー LCD に表示。
- LCD バックライトの点滅により表示（3 回点滅 = 使用可能、2 回点滅 = 使用不可）。
- チャイムにより通知（3 回チャイム = 使用可能、2 回チャイム = 使用不可）。

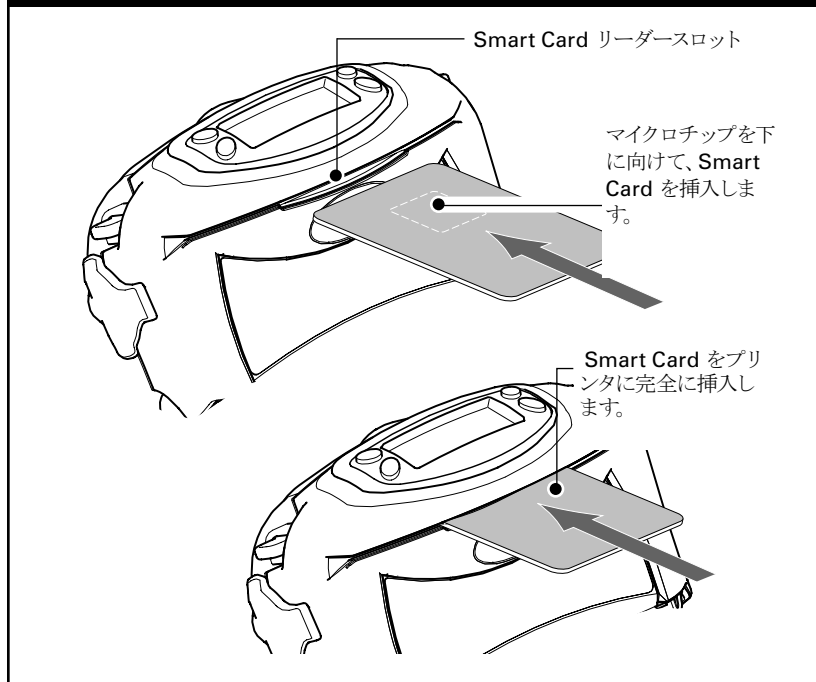
MSR は以下のように使用します。

1. リーダーが使用可能な場合、図のようにカードをリーダースロットに置きます。磁気ストライプ(通常、カードの背面)をプリンタの底面に向け、図 16 のようにカードリーダースロットの底面に挿入します。
2. カードをスロットにスライドさせます。カードは、いずれかの方向にスライドさせると読み取られます。アプリケーションソフトウェアによっては、プリンタはスキャンが正常に完了すると 1 回チャイムを鳴らします。
3. カードが読み取らなかった場合は、反対方向にスライドさせてください。

図 16:磁気ストライプリーダーの使用

Smart Card リーダー

オプションの Smart Card リーダーは以下のように使用します。

1. LCD に「RDR」が表示され、*Smart Card* リーダーが有効であることが示されます。(リーダーアプリケーションの中にはディスプレイバックライトが点滅するか、3 回チャイムを鳴らしてリーダーステータスが「準備完了」であることを示すものもあります。)この時点で、プリンタはホスト端末に接続された Smart Card リーダーとしてのみ動作します。その他のプリンタ機能はすべて停止されます。
2. 図 17 のようにカードをリーダースロットに挿入します。カードに組み込まれたマイクロチップをプリンタ底面に向け、正常にスキャンできるようにリーダースロットに完全に挿入します。
3. アプリケーションソフトウェアによっては、プリンタが正常に処理を完了すると 1 回チャイムを鳴らします。
4. カードが正常に読み取られると、プリンタは通常の印刷操作を開始し、Smart Card を取り外すことができます。

図 17:Smart Card リーダーの使用

アクセサリの使用

ベルトクリップ

図 18 を参照します。すべての RW シリーズ プリンタには標準でベルトクリップが付いています。使用方法：クリップをベルトに引っ掛け、クリップがベルトにしっかりと取り付けられていることを確認します。ベルトクリップは旋回可能なので、プリンタを着用していても身体の動きは制限されません。

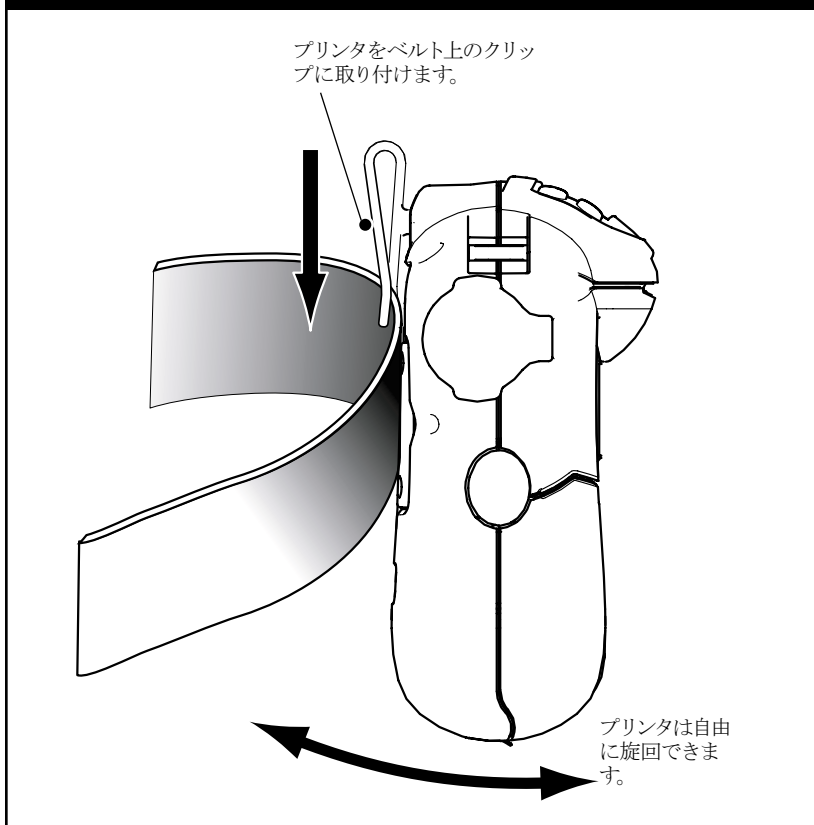
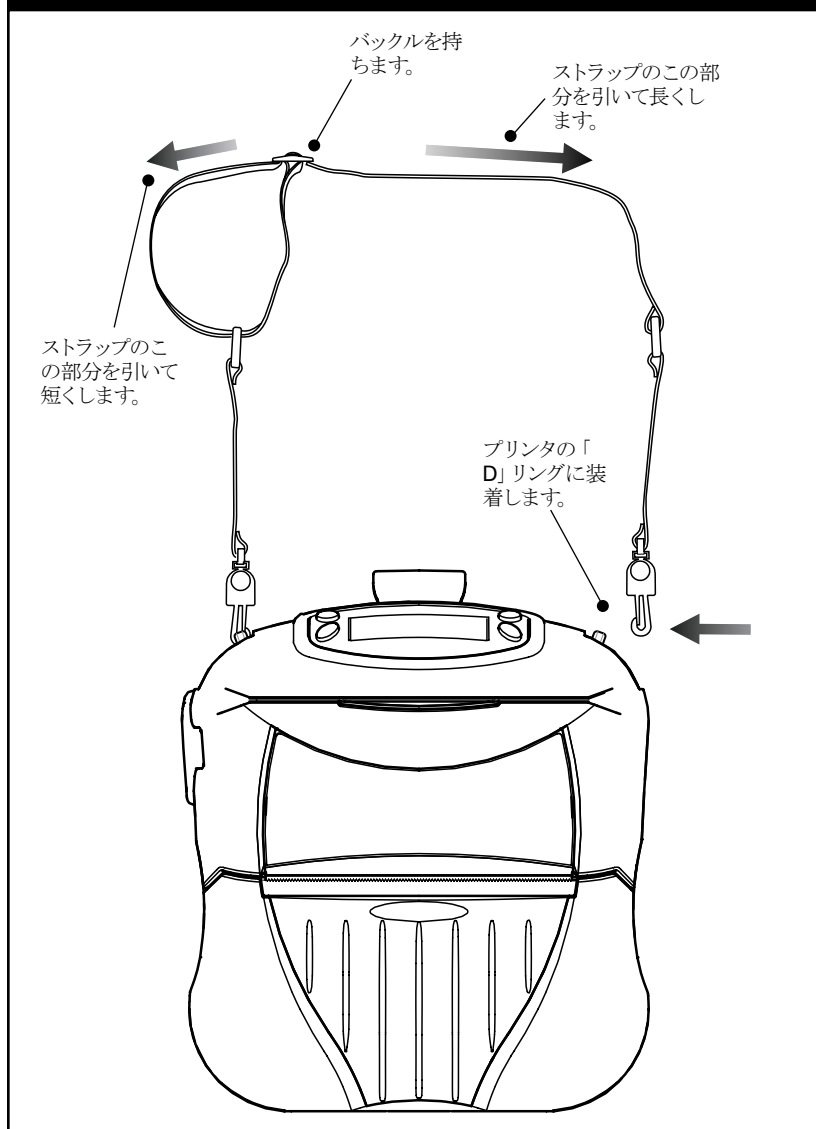
図 18：ベルトクリップの使用

調整式ショルダーストラップ

図 19 を参照します。プリンタにショルダーストラップオプションが装備されている場合、以下の操作を行います。ショルダーストラップの両端をプリンタ上面の「D」リングに装着します。バックルをプリンタの方向または逆方向にスライドさせて長さを調整します。

図 19:ショルダーストラップの使用

クレードル

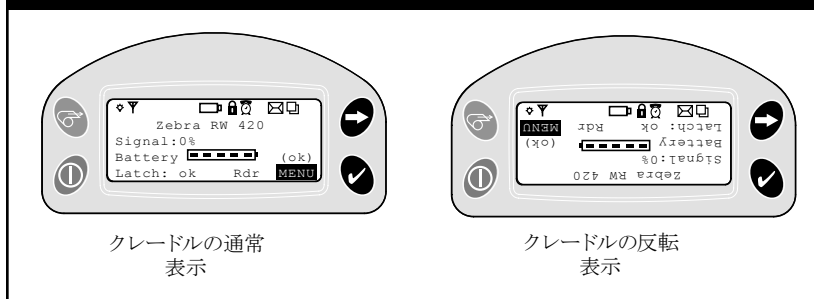
RW 420 車載クレードル

RW 420 はドッキングクレードルと共に使用することができます。プリンタがクレードルにドッキングされている場合、プリンタのバッテリーを充電でき、また、通常どおりにプリンタで印刷、データ送受信を行うことができます。クレードルはシガーライターソケットなど、車内の PTO(電力取出装置)または AC 電源による外部電源供給のいずれかから 12 VDC 電力供給を行います。詳細は、クレードル付属の取扱説明書を参照してください。

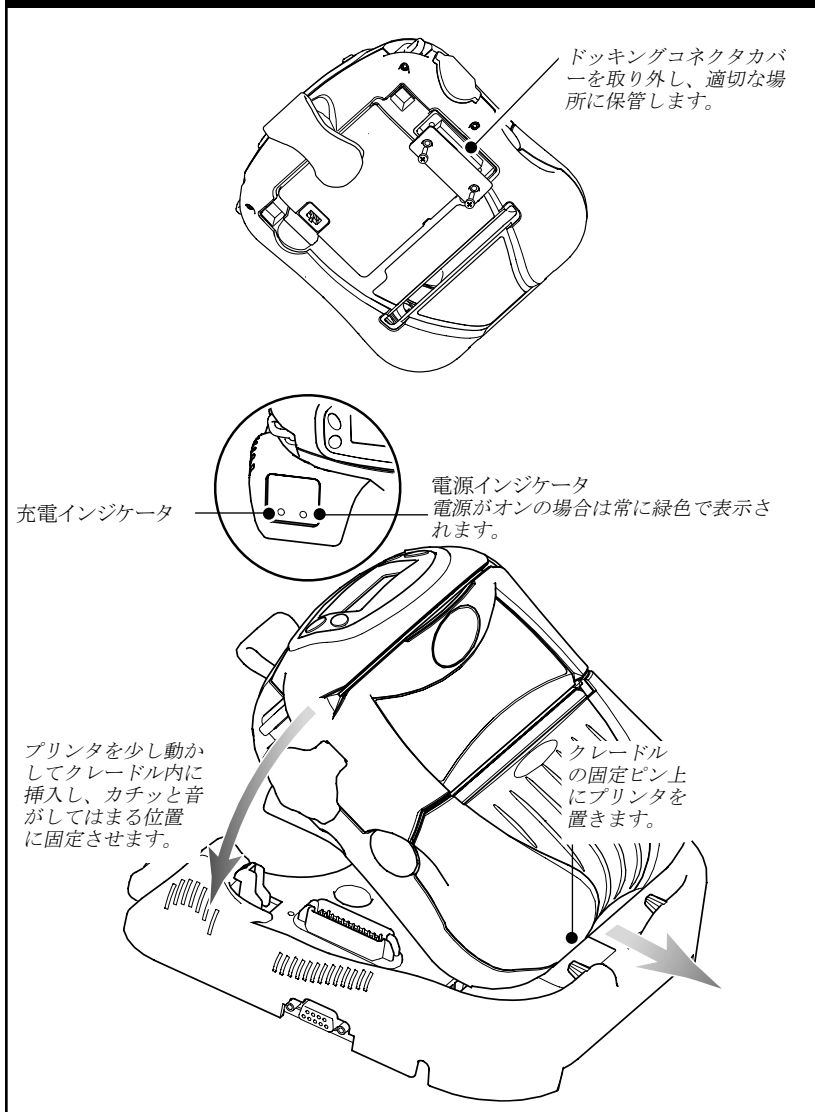
RW 420 には、プリンタのドッキング時に自動的にコントロールパネルの 4 つの表示行を 180º 回転させるソフトウェア機能が搭載されています。これにより、クレードルが垂直に装着されている場合にディスプレイ内の表示テキストを簡単に読むことができます。図 20 を参照してください。

この機能は、RW 220 にも搭載されていますが、RW 220 がドッキングされている時に表示行を回転させるコマンドを送信する必要があります。自動的には表示テキストは回転しません。

図 20:クレードルの取り付けのための反転表示

次のページ

プリンタをクレードルに取り付ける

> ❗ ***重要・安全対策として、プリンタをドッキングする前に調整式ショルダーストラップを取り外すことを推奨します。これにより、ストラップが車両内での正常操作を妨げないようにすることができます。***

図 21：RW 420 をクレードルに取り付ける

- プリンタの底部からドッキングコネクタカバーを取り外します。このカバーは、あとで使用するために適切な場所に保管します。(図 21 参照)
- クレードルの 2 つのピンの上にプリンタの底面を置きます。
- プリンタ上部を少し動かしてクレードル内に挿入し、カチッと音がしてはまる位置に固定させます。
- クレードルの電源インジケータと充電インジケータが点灯したことを確認し、プリンタの電源を入れます。

充電インジケータが点灯しない場合、プリンタを車載クレードルからラッチを解除して取り外し、再度取り付けます。

*電源インジケータと充電インジケータに関する詳細は、「**Vehicle Cradle Installation Guide**」を参照してください。*

RW 420 プリンタがクレードルに取り付けられている時にも、用紙(外部供給用紙を含む)を装填したり、通常のクリーニング操作を行ったりできます。

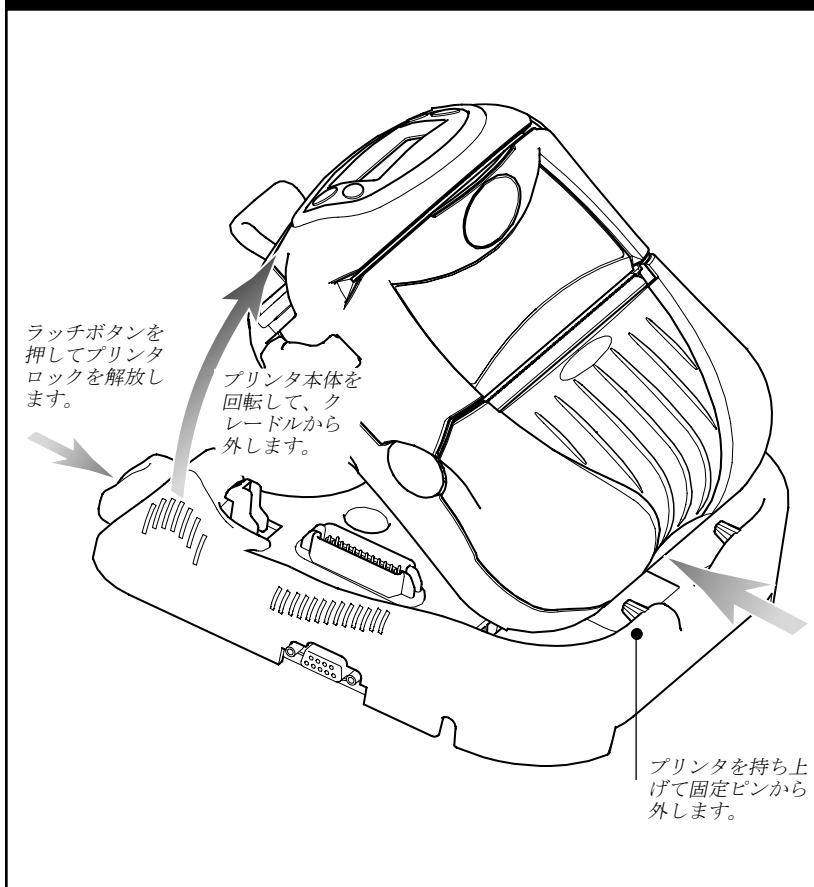
次のページ

プリンタをクレードルから取り外す

図 22 を参照してください。

- プリンタの電源をオフにします。
- クレードルのラッチを押し、プリンタ上部を少し動かしてクレードルから取り外します。
- プリンタ本体を回転して、クレードルから外します。

プリンタを長時間クレードルから外した状態で使用する場合は、ドッキングコネクタカバーを元の位置に戻します。

図 22：RW 420 をクレードルから取り外す

RW 220 車載クレードル

RW 220 はドッキングクレードルと共に使用することができます。プリンタがドッキングされていると、内蔵バッテリーか、または RCLI シリーズ外部充電器のいずれかから電源を供給することができます。詳細は、クレードル付属の取扱説明書を参照してください。

プリンタをクレードルに取り付ける

図 23 を参照してください。

重要・安全対策として、プリンタをドッキングする前に調整式ショルダーストラップを取り外すことを推奨します。これにより、ストラップが車両内での正常操作を妨げないようにすることができます。

- クレードルの 2 つのピンの上にプリンタの底面を置きます。
- プリンタ上部を少し動かしてクレードル内に挿入し、カチッと音がしてはまる位置に固定させます。

図 23：RW 220 をクレードルに取り付ける

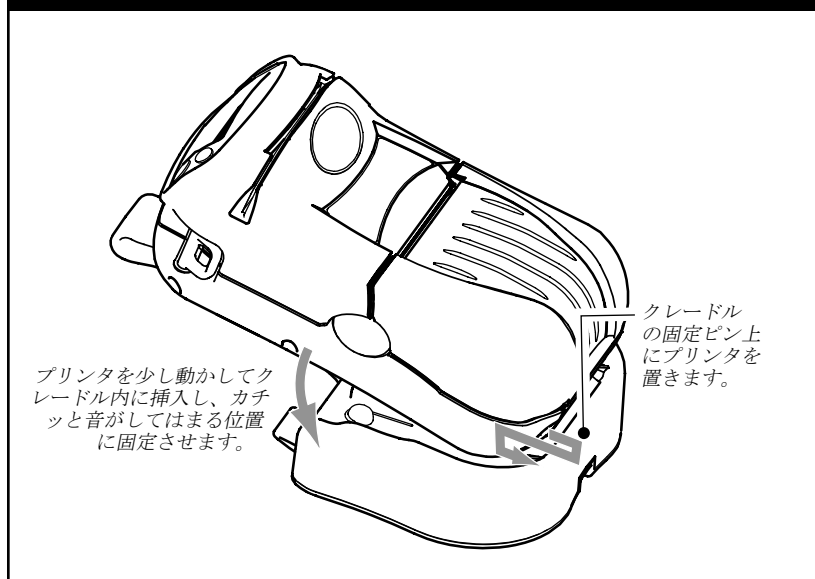
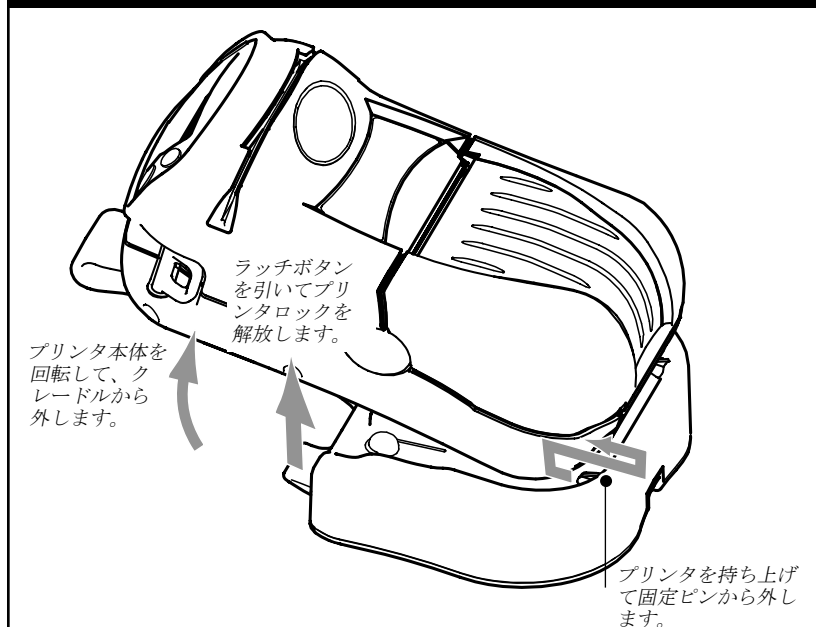
次のページ

プリンタをクレードルから取り外す

図 24 を参照してください。

- プリンタの電源をオフにします。
- クレードルのラッチを引いて、プリンタを回転させてクレードルから外します。
- 固定ピンから外れるようにプリンタを持ち上げてクレードルから外します。

図 24:RW 220 をクレードルから取り外す

バッテリー寿命を伸ばす

- バッテリーを直射日光が当たる場所、または 104° F (40° C) 以上の温度になる場所に置かないでください。
- 常にリチウムイオンバッテリー専用の Zebra 製充電器を使用してください。その他の充電器を使用するとバッテリーが破損する恐れがあります。
- 印字要件に合う適切な用紙を使用してください。Zebra 認定再販業者は、ご利用のアプリケーションに合わせた最適な用紙の選択をお手伝いします。
- すべてのラベルに同じテキストまたはグラフィックを印刷する場合は、事前に印刷済みのラベルの使用をご検討ください。
- 用紙に適切な印刷の暗さおよび速度を選択してください。
- 必要に応じて、ソフトウェア ハンドシェーキング (XON/XOFF) を使用してください。
- LCD ディスプレイバックライトは必要な場合のみ使用してください。必要でない場合はオフにしてください。
- 1 日以上使用しない場合、またはメンテナンス充電を行わない場合は、バッテリーをプリンタから取り外します。
- 追加バッテリーの購入をご検討ください。
- 充電式バッテリーは時間の経過とともに充電能力が失われ、一定回数充電を行ったら取り替える必要があります。使用済みバッテリーは、常に適切な方法で処分するようにしてください。バッテリーの適切な処分方法の詳細は、付録 D を参照してください。

注意 • LI 72 壁充電器がプリンタ本体に接続された状態で印刷を行わないでください。バッテリーが適切に充電されない場合があります。

次のページ

一般的なクリーニングの手順

注意 • クリーニングを行う前には常にプリンタの電源をオフにしてください。

ケガをしたり、プリンタが損傷したりすることのないよう、プリンタ内に先のとがった鋭利な物体を挿入しないでください。

ティアバー近くで作業を行う場合は注意してください。ティアバーの両端は尖っています。

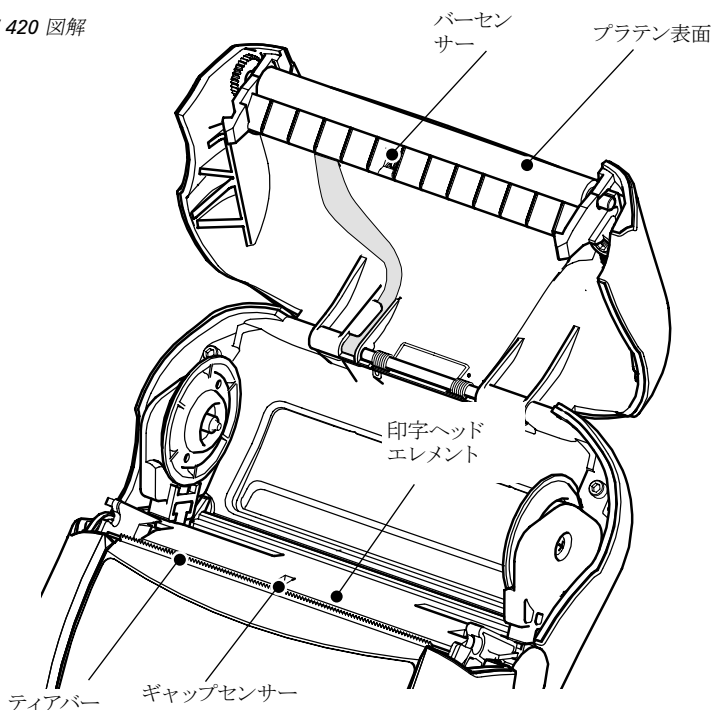
注意 • 長時間印刷の場合、印字ヘッドが熱くなります。プリンタ本体の温度が下がってから、クリーニングを行うようにしてください。

*注意 • 以下の表に示す洗浄剤のみを使用してください。**Zebra Technologies Corporation** は、このプリンタにその他の洗浄剤を使用することによって発生した損傷の責任は負いません。*

プリンタをクリーニングする際は、プリンタ付属のクリーニングペンまたはアルコールに浸した綿棒を使用してください。

RW シリーズ プリンタのクリーニング

部位	方法	間隔
印字ヘッド（図 25）	付属のクリーニングペンまたは 70% イソプロピルアルコールを浸した綿棒を使用して、端から端まで印字エレメントを清掃してください(印字エレメントは印字ヘッドの細い灰色のラインにあります)。	5 つのロール紙ごと（または、それ以上）
プラテンローラー (図 25)	プラテンローラーを回転させて、クリーニングペンまたは 70% イソプロピルアルコールを浸した綿棒で入念に清掃します。	
ティアバー（図 25）	クリーニングペンまたは 70% イソプロピルアルコールを浸した綿棒で入念に清掃します。	
外側	水で湿らせた布	必要に応じて
内部（図 25）	ブラシまたは送風。バーセンサーおよびギャップセンサーのウィンドウに、ほこりが付着していないことを確認してください。	5 つのロール紙ごと（または、それ以上）

図 25：RW シリーズ プリンタのクリーニング

LCD コントロールパネル インジケータ

ディスプレイ上部に各プリンタ機能を示すアイコンが表示されます。問題を解決するには、インジケータのステータスを確認し、以下の表で関連するトラブルシューティングトピックの見出し番号を参照してください。

ステータスアイコン	状態	意味	見出し参照番号
(Bluetooth アイコン)	一定	Bluetooth 接続確立	なし
	点滅	Bluetooth による送受信	なし
	Off	Bluetooth 接続なし	6
(アンテナアイコン)	一定	802.11b RF 接続確立	なし
	Off	802.11b RF 接続なし	6
(バッテリーアイコン)	点滅	バッテリー低下	3、6、7
(ロックアイコン)	点滅	ヘッドラッチが閉じていない	9、11
(時計アイコン)	点滅	印刷処理を示す	なし
(封筒アイコン)	一定	データ処理中	8
(用紙アイコン)	点滅	用紙切れ	9、11
空白画面	なし	アプリケーションなし	1、13

トラブルシューティングトピック

1. 電源が入らない

- バッテリーが正しく取り付けられているか確認します。
- 必要に応じて、バッテリーを充電または交換します。（使用済みバッテリーは、常に適切な方法で処分するようにしてください。バッテリーの適切な処分方法の詳細は、付録 D を参照してください。）

2. 用紙のフィードができない

- メディアカバーが閉じており、ロックされているか確認します。
- メディアサポートが曲がっていないか確認します。

3. 印字が不鮮明か、色がぼやけているか、(バッテリーアイコン) アイコンが点滅している

- 印字ヘッドをクリーニングしてください。
- バッテリーを点検し、必要に応じて、充電または交換します。
- 用紙の品質を確認してください。

4. 部分的にしか印刷できないか、何も印刷できない

- 用紙の装填状態を確認します。
- 印字ヘッドをクリーニングしてください。
- メディアカバーが閉じており、ロックされているか確認します。

5. 印刷が文字化けしている

- ボーレートを確認してください。

6. 印刷されない

- ボーレートを確認してください。
- バッテリーを交換します。使用済みバッテリーは、常に適切な方法で処分するようにしてください。バッテリーの適切な処分方法の詳細は、付録 D を参照してください。
- ターミナル接続用ケーブルを点検します。
- ワイヤレスユニット(Bluetooth または 802.11b)のみ:RF 接続を確立します。802.11b ワイヤレスユニットの LAN 接続を復元します。
- 無効なラベル形式またはコマンド構造 — プリンタを通信診断 (Communications Diagnostic - Hex Dump) モードにして問題を診断してください(トラブルシューティングのテストの項を参照)。

7. バッテリー寿命が短くなった

- バッテリーの日付コードを確認します。製造後 1 年 ～ 2 年経過している場合、寿命が短くなった原因は、正常な老化である可能性があります。
- バッテリーを交換します。(使用済みバッテリーは、常に適切な方法で処分するようにしてください。バッテリーの適切な処分方法の詳細は、付録 D を参照してください。)

8. ✉ アイコンの点滅

- アプリケーションがないか、または壊れています。プログラムを再インストールしてください。
- データの受信中にインジケータが点滅するのは正常です。

9. ❐ の点滅または 🔒 アイコン

- 用紙が装填されているか確認してください。
- メディアカバーが閉じており、ロックされているか確認します。

10. ラベルがスキップされる(ラベルストックを使用している場合のみ)

- 用紙のフォーム上部のセンスマークまたはラベルギャップを確認します。
- ラベルの最大印刷フィールドを超過していないか確認します。
- バーセンサーまたはギャップセンサーが遮られていないか、または故障していないか確認します。

11. 通信エラー

- 用紙が装填されているか確認してください。
- メディアカバーが閉じており、ロックされているか確認し、また、エラーインジケータがオフになっているか確認します。

次のページ

- ボーレートを確認してください。
- ターミナル接続用ケーブルを交換します。

12. ラベルの詰まり

- メディアカバーを開きます。
- ラベルが詰まっている部分にアルコールを十分に塗ります。

13. 空白の LCD 画面

- アプリケーションがロードされていないか、または壊れています。プログラムを再インストールしてください。

14. 磁気ストライプカードまたは Smart Card が読み取られない

- カードリーダーが有効であることを示す「RDR」テキストが表示されているか確認します。(「オペレータコントロール」の項を参照)
- カードに磁気ストライプまたはマイクロチップが正しい方向に挿入されているか確認します。
- 磁気ストライプまたはマイクロチップが過度に磨耗または損傷しているか確認します。

15. バッテリーパックを挿入できない

- RW シリーズおよび QL シリーズモデルのプリンタ用バッテリーパックは、大きさや形は類似していますが、互換性はありません。正しいバッテリーパックを使用しているか確認します。RW 420 用バッテリーパックの部品番号は AK17463-005 です。
  RW 220 用バッテリーパックの部品番号は AK18026-002 です。
- バッテリーの端子を保護している収縮包装と警告カードが取り外されているか確認します。

トラブルシューティング テクニック

コンフィグレーションラベルの印字

プリンタの現在の設定のリストを印字するには、以下の手順に従います。

1. プリンタの電源をオフにします。用紙コンパートメントにジャーナル用紙（背面にブラックバーが印字されていないもの）を装填します。
2. フィードボタンを押したままにします。
3. 電源ボタンを押して離し、フィードボタンを押したままにします。印字が開始されたら、フィードボタンを離します。
   サンプルの設定プリントアウトの詳細は、図 26 ～ 26b を参照してください。

強制終了の実行

プリンタが動作しなくなり、オペレータの入力や接続端末または接続されている LAN からの外部コマンドに応答しない場合、強制終了を実行できます。

- プリンタソフトウェアが通常の操作中に動作しなくなった場合は、電源ボタンを 3 秒間押し続けてプリンタを強制終了します。
- 通常の方法でプリンタをオフにしようとしてソフトウェアが動作しなくなった場合は、プリンタは 10 秒間遅れて終了します。
- プリンタの電源をオフにしようとして応答がない場合は、電源ボタンを 10 秒以内に再度押し続けてプリンタを強制終了します。

強制終了では、プリンタのデータおよび設定が保持されます。

通信診断

コンピュータとプリンタ間のデータ送信で問題がある場合、プリンタを通信診断モード（Communications Diagnostics - DUMP モード）にします。プリンタは、ホストコンピュータから受信したデータの ASCII 文字およびテキスト表示（印刷不可能文字の場合は、ピリオド「.」）を印字します。

通信診断モードにするには、以下の操作を実行します。

1. 上記の説明のとおりにコンフィグレーションラベルを印字します。
2. 2 回目の診断レポートで、次のテキストが印字されます。「Press FEED key to enter DUMP mode.」
3. フィードキーを押します。次のテキストが印字されます。「Entering DUMP mode.」

*注記 • フィードキーが **3** 秒以内に押されない場合、**DUMP** モードになっていないことを示す「**DUMP mode not entered**」というテキストが印字され、通常の操作が再開されます。*

次のページ

4. この時点で、プリンタは DUMP モードで送信される任意のデータの ASCII 16 進数コードとテキスト表示(印字不可能な文字の場合は「.」)を印字します。

さらに、ASCII 情報を含んだ「.dmp」拡張子のファイルが作成され、プリンタのメモリに保存されます。このファイルは、Label Vista アプリケーションを使用して、表示、コピーまたは削除できます。(詳細は Label Vista のマニュアルを参照してください。)

通信診断モードを停止してプリンタを通常操作に戻すには、以下の操作を実行します。

1. プリンタの電源をオフにします。
2. 5 秒待ちます。
3. プリンタの電源をオンにします。

テクニカルサポートへの連絡

プリンタがコンフィグレーションラベルの印字に失敗した場合、またはトラブルシューティングガイドに記載されていない問題が発生した場合、Zebra のテクニカルサポートにご連絡ください。最寄りのテクニカルサポートの住所と電話番号は、本書の付録 D に記載されています。ご連絡いただく際は、以下の情報をお伝えください。

- モデル番号またはタイプ(RW 420 など)
- プリンタのシリアル番号(ダッシュ記号を含む 14 桁の数字)。プリンタのシリアル番号は本体背面の大きなラベルに記載されています。また、コンフィグレーションラベルプリントアウトにも出力されます。(図 26 ～ 26b 参照)
- 製品コンフィグレーションコード (PCC)(ダッシュ記号を含む 15 桁の数字)。RW 420 プリンタの PCC 番号は「RW4」で始まります。本体背面のユニットシリアル番号の下に記載されています。RW 220 プリンタの PCC 番号は「RW2」で始まります。本体背面のユニットシリアル番号の上に記載されています。詳細は付録 D を参照してください。

図 26:コンフィグレーションラベルの例

1. 上記のデュアル無線ユニットは未発売です。このオプションは製品の初回リリース後に提供されます。

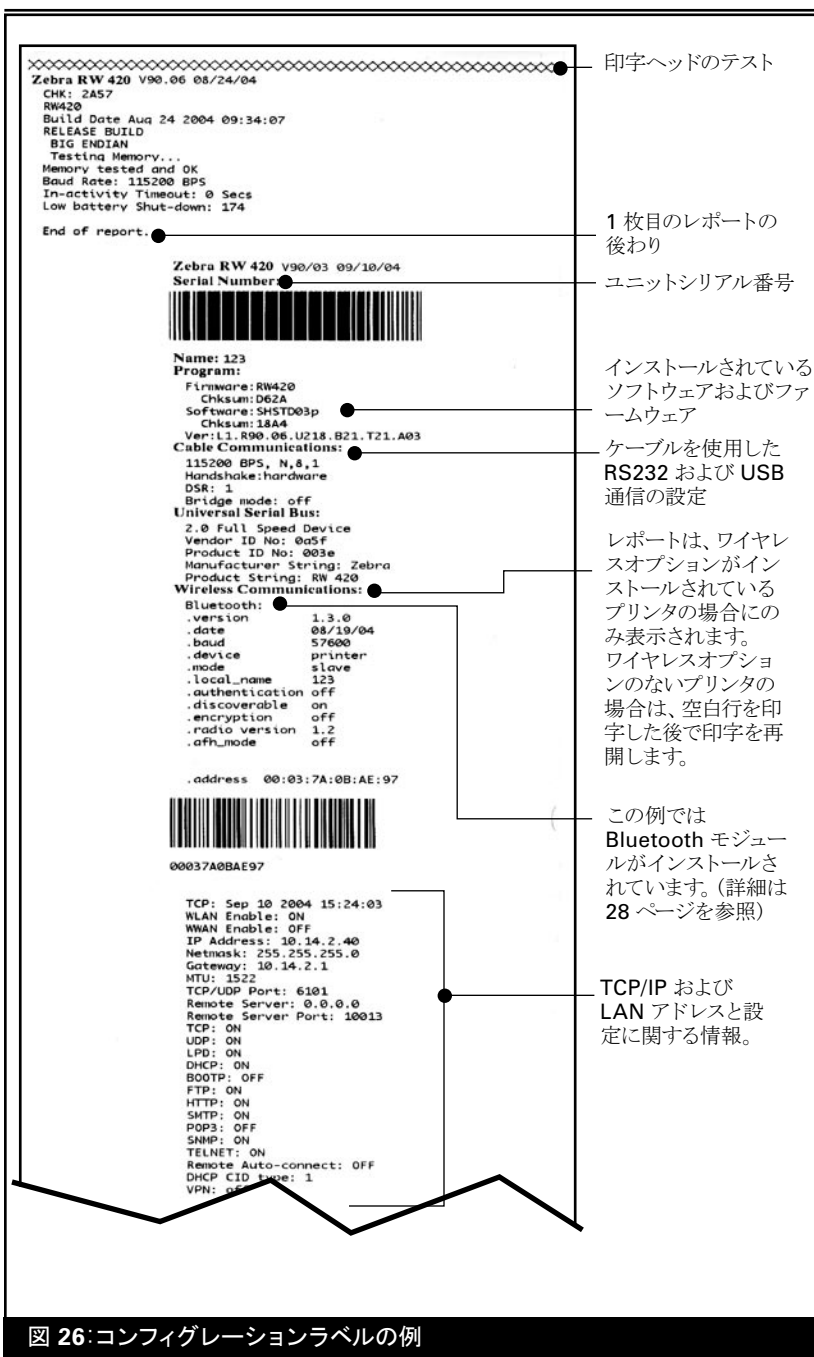
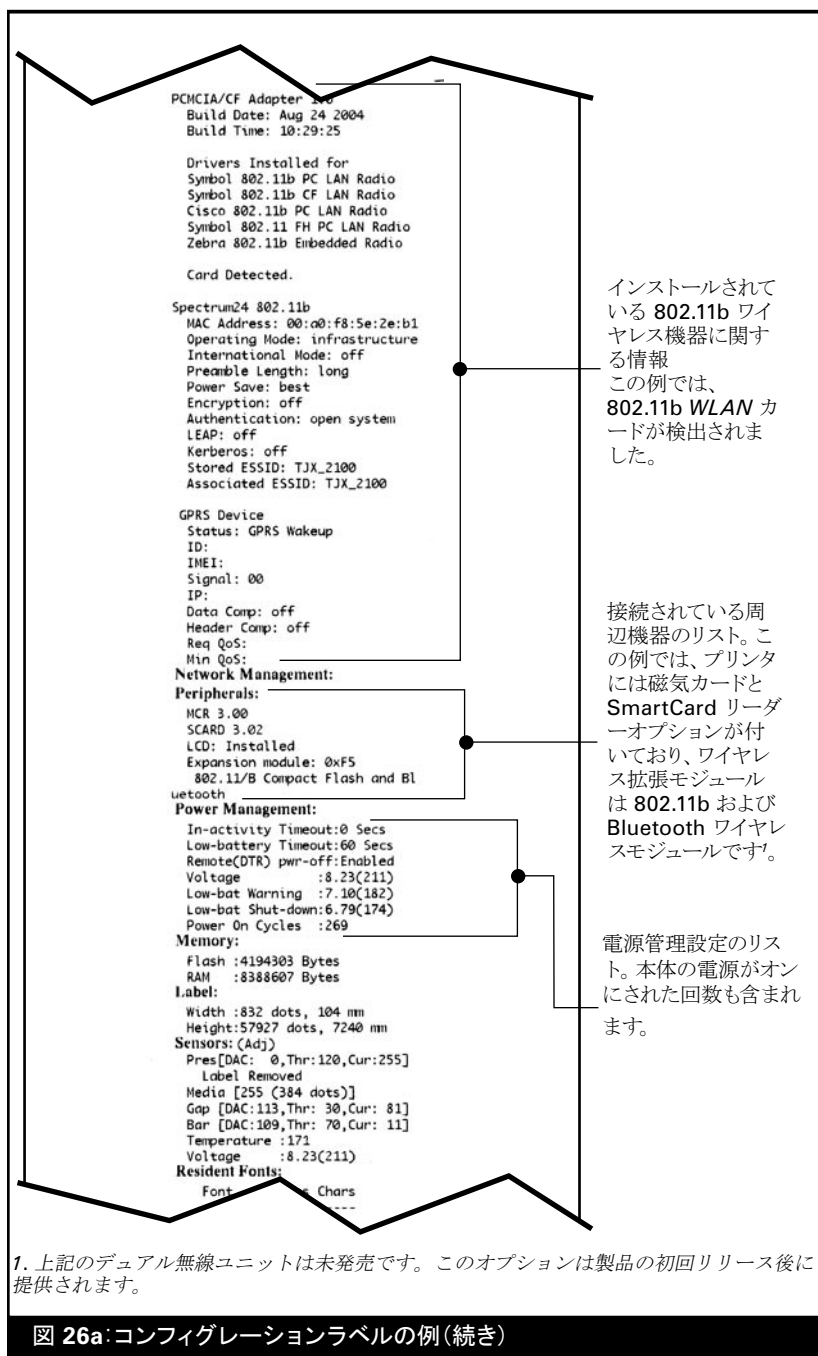



図 26a:コンフィグレーションラベルの例(続き)

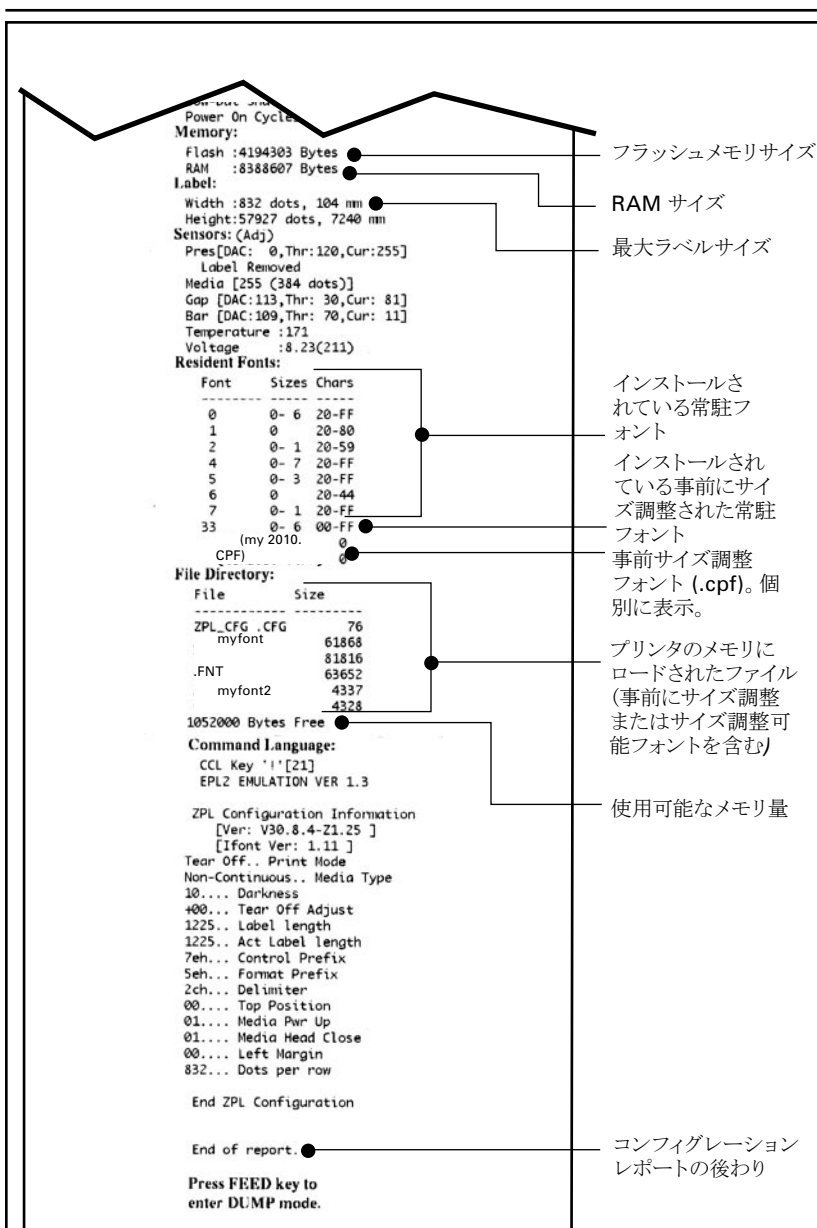



図 26b:コンフィグレーションラベルの例(続き)

仕様

注記.- プリンタ仕様は予告なく変更されることがあります。

印字仕様

	RW 420	RW 220
印字幅	最大 103.8 mm（4.09 インチ）	最大 56 mm（2.20 インチ）
印字速度 濃度 30% の場合	76.2 mm /秒 （3 インチ/秒）	
プリントエレメントからティアエッジまでの距離	5 mm（.20 インチ） 41 ドット	
印字ヘッド寿命（予測）	50 Km（1,964,160 インチ） 公称値	
印刷濃度	8 ドット/mm（203 ドット/インチ）	

メモリ / 通信仕様

フラッシュメモリ	4 MB フラッシュ（標準）
RAM メモリ	8 MB RAM（標準）
標準通信	RS-232C シリアルポート（RJ-45 コネクタ） 設定可能ボーレート (9600 ～ 115.2 Kbps)、パリティビットとデータビット。 ソフトウェア (X-ON/X-OFF) またはハードウェア (DTR/STR) 通信ハンドシェークプロトコル。 USB 2.0 フルスピードインタフェース (12 Mb/s)
ワイヤレス通信 (オプション)	Bluetooth 互換 2.4 GHz SRRF 接続 802.11b プロトコル準拠ワイヤレス LAN 機能 デュアル Bluetooth + 802.11b 無線通信 (RW 420 のみ)

通信ポート

USB

ピン番号	信号名	タイプ	説明
1	VBUS	-	USB バス電源
2	USB -	双方向	I/O 信号
3	USB +	双方向	I/O 信号
4	USB_ID	-	A/B コネクタ識別
5	リターン	-	グランド

RS232

ピン番号	信号名	タイプ	説明
1	NC	未接続	
2	NC	未接続	
3	RXD	入力	データ受信
4	TXD	出力	データ送信
5	DTR	出力	データ端末準備完了 - プリンタがオンの時に高に設定
6	GND		グランド
7	DSR	入力	データセット準備完了 – LowからHighへの変更はプリンタをオンにし、高から低への変更はプリンタをオフにします（有効な場合)。
8	RTS	出力	送信リクエスト プリンタがコマンドまたはデータ受信準備が完了している場合に高に設定
9	CTS	入力	ホストから送信可
10	NC	未接続	

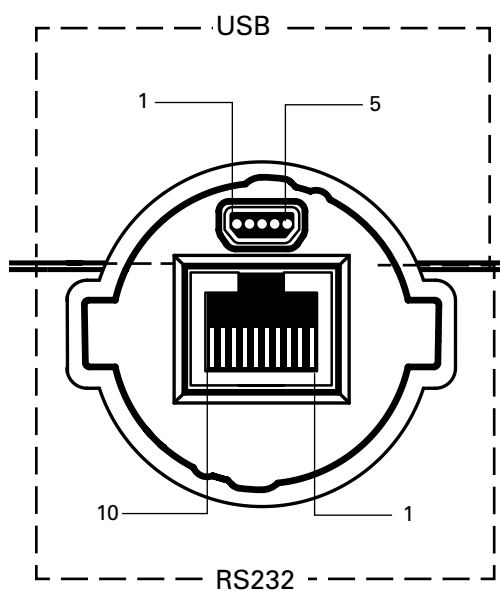



図 **27**:通信ポート

RW 420 用紙仕様

用紙幅	50.8 ～ 104.6 mm (2.0 インチ ～ 4.12 インチ)
最大連続受信 (標準メモリ使用)	連続 (搭載メモリによる)
ラベル間ギャップ	2 mm ～ 4 mm (3 mm推奨) (0.08 インチ ～ 0.16 インチ [0.12 インチ推奨])
ラベル厚	.064 mm ～ .165 mm(.0025インチ ～ .0065インチ)
最大ラベルロール径	57 mm(2.25 インチ)外径
ラベル内部芯	19 mm(.75 インチ) 最小径; 35 mm(1.38 インチ)オプション設定
ブラックマーク寸法	反射用紙ブラックマークはロールの中心線を超えるところまで延びます。
用紙要件	最小マーク幅:25.4 mm(1.0 インチ)用紙の端に対して直角、ロール幅で中央合わせ。 マーク長:2.4 mm(0.094 インチ)用紙の端に対して平行

RW 220 用紙仕様

用紙幅	25.4 ～ 60.1 mm (1.0 インチ ～ 2.37 インチ)
最大連続受信 (標準メモリ使用)	連続 (搭載メモリによる)
ラベル間ギャップ	2 mm ～ 4 mm (3 mm推奨) (0.08 インチ ～ 0.16 インチ [0.12 インチ推奨])
ラベル厚	.064 mm ～ .165 mm (.0025インチ ～ .0065インチ)
最大ラベルロール径	57 mm(2.25 インチ)外径
ラベル内部芯	19 mm(.75 インチ)最小径; 35 mm(1.38 インチ)オプション設定
ブラックマーク寸法	反射用紙ブラックマークはロールの中心線を超えるところまで延びます。
用紙要件	最小マーク幅:12.7 mm(0.5 インチ)用紙の端に対して直角、ロール幅で中央合わせ。 マーク長:2.4 mm(0.094 インチ)用紙の端に対して平行

Zebra ブランドの外巻き感熱式用紙を使用してください。用紙には、反射 (ブラックマーク) 検出、または透過 (ギャップ) 検出、打抜き、連続があります。外部用紙オプション設定のある RW 420 の場合、外部用紙供給とともに連続式用紙を使用できます。
打抜きラベルでは、全自動ダイのみを使用してください。

フォント / バーコード仕様

フォント 使用可能な	標準フォント:25 ビットマップフォント、1 サイズ調整可能 (CG Trimvirate Bold Condensed*) フォントLabel Vista ソフトウェアからのダウンロード可能なオプションのビットマップ & サイズ調整可能フォント。 オプションの国際文字セット:中国語 16 x 16（繁体字)、16 x 16（簡体字)、24 x 24(簡体字);日本語 16 x 16, 24 x 24; ヘブライ語 / アラビア語 * Agfa Monotype Corporation の UFST を含む
使用可能な 一次元バーコード	Codabar UCC/EAN 128 UCC-128 Composite A/B/C Code 39 Code 93 EAN 8/JAN 8、2 桁および 5 桁拡張 EAN-8 コンポジット EAN 13/JAN 13、2 桁および 5 桁拡張 EAN-13 コンポジット Interleaved 2 of 5 MSI/Plessey FIM/POSTNET UPC-A、2 桁および 5 桁拡張 UPCA コンポジット UPC E、2 桁および 5 桁拡張 UPCE コンポジット
使用可能な 二次元バーコード QR Code	MaxiCode PDF 417 Datamatrix（ZPL エミュレーション使用） RSS: RSS-14 トランケート RSS-14 スタック RSS-14 スタック オムニダイレクション RSS リミテッド RSS エクスパンド
回転角度	0°、90°、180°、および 270°

物理的 / 環境 / 電気仕様

	RW 420	RW 220
バッテリー込み、用紙なしの重量	907 g (2.0 ポンド)[1]	658 g (1.45 ポンド)[1]
	975 g (2.15 ポンド)[2]	703 g (1.55 ポンド)[2]
作時の温度	-20° 〜 55° C (-4° 〜 131° F)	
充電時の温度	0° 〜 40° C (32° 〜 104°F)	
保管時の温度	バッテリーなし: -30° 〜 65° C (-22° 〜 149° F)	
	バッテリー付き: -20° 〜 45°C (-4° 〜 113° F)	
相対湿度	操作時：10% 〜 90%（非凝縮）	
	保管時：10% 〜 90%（非凝縮）	
バッテリー	7.4V リチウムイオン 4 AHr	7.4V リチウムイオン 2 AHr
防水 (IP) 評価	54	

1. 重量は基本単位の場合のもの（MSR / SmartCard オプションなし）
2. 重量は MSR /SmartCard オプションが取り付けられている場合のもの

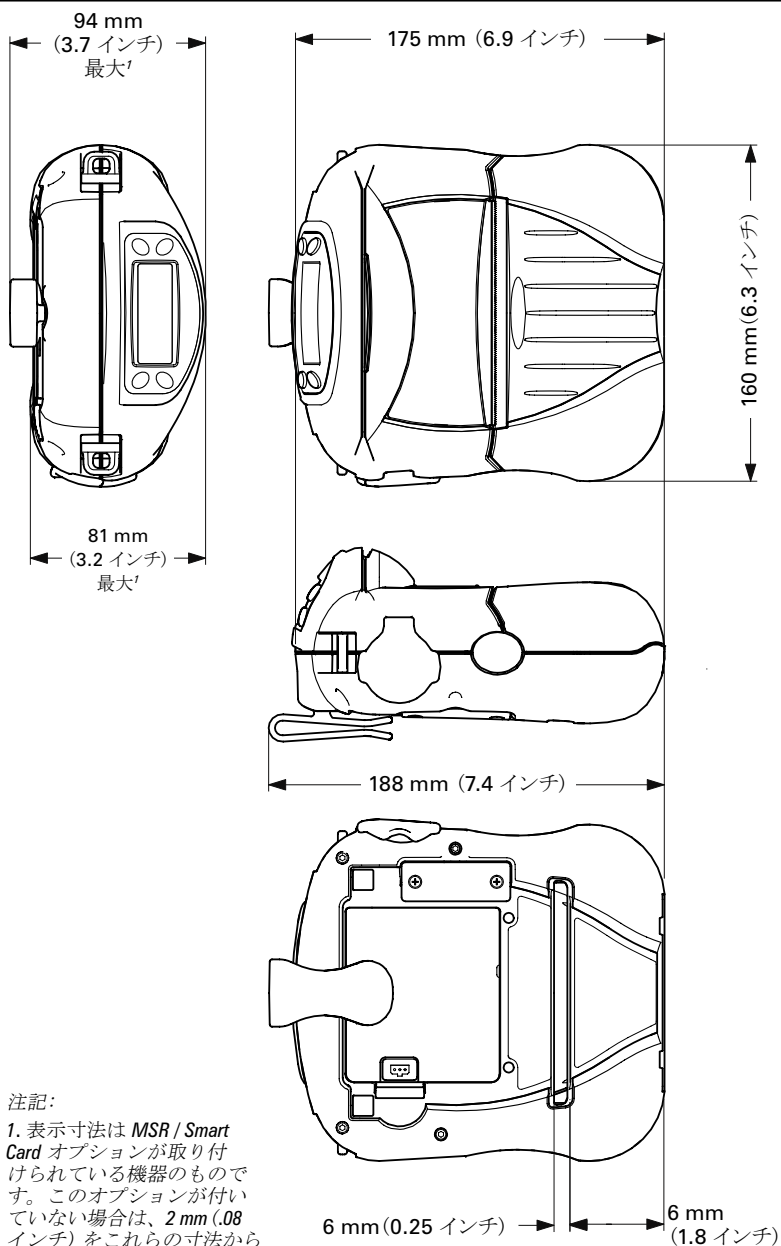
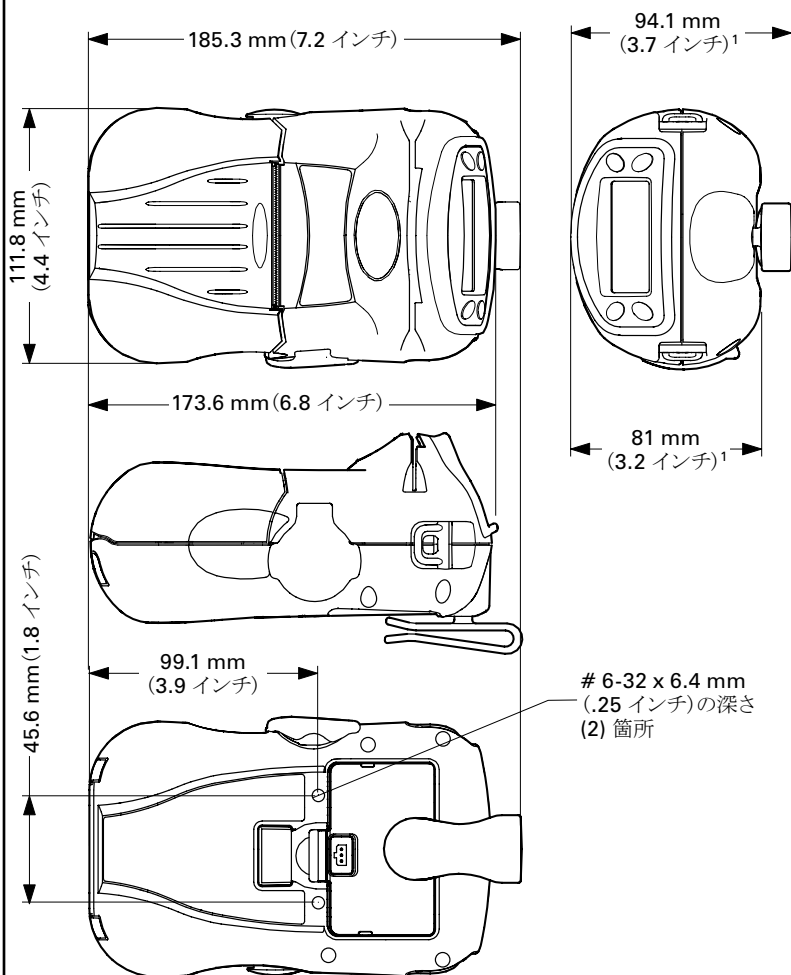



図 28: RW 420 全体寸法

注記：

1. 表示寸法は MSR / Smart Card オプションが取り付けられている場合のものです。このオプションが付いていない場合は、5 mm（0.27 インチ）をこれらの寸法から差し引いてください。

図 29：RW 220 全体寸法

RW シリーズ アクセサリ

品目	注文番号	入力電圧
調整式ショルダーストラップ	BT11132-1	なし
キャリングストラップ	BT16899-1	なし
RW 420 保護ソフトケース	AK17463-001	なし
RW 220 保護ソフトケース	AK18026-001	なし
RW 420 追加バッテリーパック	AK17463-005	なし
RW 220 追加バッテリーパック	CT17497-1	なし
RW 420 車載クレードル	AK17463-004	9-30 VDC
シガーライターアダプタ付き RW 420 車載クレードル / 充電器	AK17463-003	9-30 VDC
搭載用アーム付き RW 220 車載クレードル	AK17463-018	なし
搭載用アームなし RW 220 車載クレードル	AK17463-019	なし
RCLI-DC モデル モバイル充電器 DC-DC コンバータ / 充電装置	CC16614-1	12 VDC
	CC16614-2	9-30 VDC
	CC16614-3	30-60 VDC
	CC16614-9[2]	12 VDC
RCLI-AC モデル モバイル充電器 AC/DC コンバータ / 充電装置	CC16614-4	100-240 VAC 50/60 Hz
LI 72 モデル シングルバッテリー充電器	AT15759-tab (注記 1 参照)	100-240 VAC 50/60 Hz
UCLI72-4 モデル 4 バッテリー充電器(米国 / 日本)	AT16305-1	100-240 VAC 50/60 Hz
UCLI72-4 モデル 4 バッテリー充電器(英国)	AC16305-1	100-240 VAC 50/60 Hz
UCLI72-4 モデル 4 バッテリー充電器(ヨーロッパ)	AC16305-2	100-240 VAC 50/60 Hz
UCLI72-4 モデル 4 バッテリー充電器(オーストラリア)	AC16305-3	100-240 VAC 50/60 Hz

注記

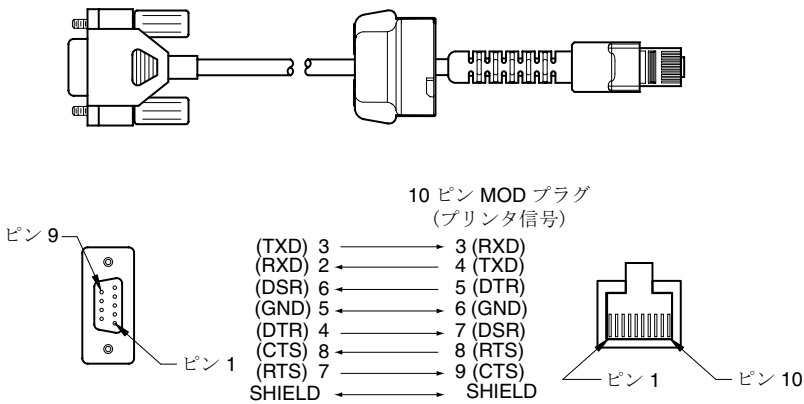
1. LI72 シングル充電器の部品番号は使用国によって異なります。部品番号の詳細は工場または Zebra 再販業者にお問い合わせください。

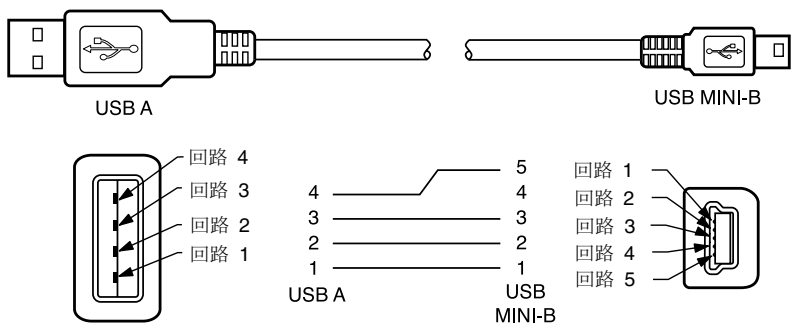
*2. CC16614-9 は **CC16614-1** にシガーライターアダプタが付いたモデルです。*

3. データ I/O ケーブルの詳細は、付録 A を参照してください。

インタフェースケーブル

RS232 ダウンロード用ケーブル

部品番号 BL17205-1、RW Mod プラグ - 9 ピン DB PC 接続ケーブル

USB ケーブル

部品番号 AT17010-1、USB A - USB Mini B 接続ケーブル

その他のインタフェースケーブル

ターミナル	ケーブル部品番号	コード長/タイプ	ターミナルコネクタ	プリンタコネクタ	注記
SYMBOL					
8000	AK17594-339	8′ /コイル	Symbol 8000 シリーズ専用	MOD 10/w tツイストロック	
INTERMEC					
700	AK17594-115	8′ コイル	16 ピン ヒロセ電機製	MOD10/w ツイストロック	
CK30	AK17594-119	8′ コイル	26 ピン JAE 製	MOD 10/w ツイストロック	
COMPSEE					
Apex II, III, IV	AK17594-815	8′ コイル	MOD 10	MOD10/w ツイストロック	
その他					
DEX	AK17594-810	16″/ ストレート	1/4″ 電話ジャック/DEX	MOD 10/w ツイストロック	

その他のケーブルについては **Zebra** 営業担当にお問い合わせください。

付録 B

用紙

最大のプリンタ寿命、および毎回安定した性能と印刷品質を保証するため、Zebra 製の用紙のみを使用することを推奨します。Zebra 製の用紙を使用することによって、以下のメリットが受けられます。

- 安定した品質と信頼性の高い用紙製品
- 標準的な形式、および豊富な品揃え
- 自社カスタムフォーマット設計サービス
- 世界的に主要な小売店チェーンなど、大規模から小規模まで多様なビジネスのニーズを満たす大規模生産能力
- 業界標準以上の品質

標準用紙やカスタム用紙に関する詳細は、販売代理店または Zebra Technologies Corporation の用紙販売担当まで (+1.866.230.9495: 米国、カナダおよびメキシコ国内のみ) お問い合わせください。

付録 C

メンテナンス用消耗品

プリンタを清掃する際は、Zebra 製の高品質用紙を使用し、メンテナンスに関する項の説明に従って行うことを推奨します。メンテナンスには、以下の Zebra 製メンテナンス用消耗品をご利用ください。

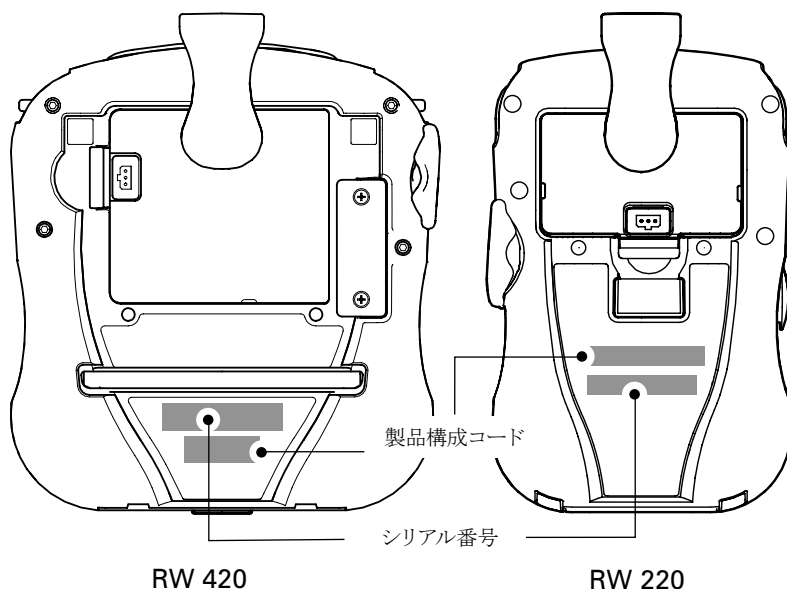
- クリーニングペン (10 パック)、追加注文番号 AN11209-1

- クリーニングペン付きクリーニングキットおよび綿棒、追加注文番号 AT702-1

付録 D

製品サポート

お客様のプリンタで問題が発生したためにご連絡いただく場合は、以下の情報をお手元にご用意ください。

- モデル番号またはタイプ (RW 420 など)
- ユニットシリアル番号
- 「RW4」または「RW2」で始まる 15 桁の製品構成コード (PCC)

製品サポートが必要な場合は、Zebra Technologies の Web サイト www.zebra.com を通じてお気軽にご連絡ください。

Zebra Technologies International, LLC
333 Corporate Woods Parkway
Vernon Hills, Illinois 60061-3109 USA
電話:+1.847.793.2600 または
+1.800.423. 0422
ファックス: +1.847.913.8766

Zebra Technologies Asia Pacific, LLC
16 New Industrial Road
#05-03 Hudson TechnoCentre
Singapore 536204
電話: +65-6858 0722
ファックス: +65-6885 0838

Zebra Technologies Europe Limited
Zebra House
The Valley Centre, Gordon Road
High Wycombe
Buckinghamshire HP13 6EQ, UK
電話: +44.1494.472872
ファックス: +44.1494.450103

バッテリーの処分

　このプリンタ付属のリチウムイオン (Li-Ion) バッテリーには、EPA (米国環境保護局) が認可するRBRC®バッテリー・リサイクリングシールが貼付されています。このシールは、米国またはカナダで使用されなくなった、耐用年数が過ぎたバッテリーを集めて再利用する産業プログラムの参加製品であることを示しています。Zebra Technologies Corporation は、このプログラムに自発的に参加しています。一般的に、使用済みのリチウムイオンバッテリーが、ゴミとして廃棄されたり、下水に流されたりすることがありますが、これは地域によっては違法となります。　このRBRC®プログラムは、これに取って代わる便利な廃棄方法です。

バッテリーの寿命が過ぎた場合は、廃棄する前に端子をテープで絶縁してください。

　お住まいの地域でのリチウムイオンバッテリーのリサイクルプログラム、および処分の禁止または規制に関する情報については、1-800-8-BATTERY (北米に居住の場合のみ) にお尋ねください。Zebra Technologies Corporation は、環境および天然資源の保全に対する取り組みの一環として、このプログラムに参加しています。

　北米以外の地域では、その地域のバッテリーのリサイクルに関する各ガイドラインに従ってください。

製品の処分

　この製品は、無分別の一般廃棄物として処分しないでください。この製品はリサイクルが可能です。リサイクル方法は、各居住地域の基準に従ってください。詳細は、***http://www.zebra.com/recycle*** を参照してください。

www.zebra.com の使用

以下は、Zebra の Web サイトである *www.zebra.com* で特定文書の検索を行うための検索機能の使用に関する詳細です。

マニュアルの検索:
http://www.zebra.com/id/zebra/na/en/index/resource_library/manuals.html

例:「Mobile Printer WIreless Configuration Guide」を検索します。
上記の手順を行い、マニュアルタイプとして「Networking Manual」を選択します。

次のページ

Label Vista ダウンロードページの検索:
http://www.zebra.com/id/zebra/na/en/index/drivers_downloads.html
表示されるウィンドウで、「Utilities」のプルダウンメニューからプリンタモデルを選択します。

索引

わ

特許番号

この製品または製品の使用は、以下の米国特許および対応する国際特許の適用対象となる場合があります。

D275,286	5,047,617	5,372,439	5,570,123	6,068,415
D347,021	5,103,461	5,373,148	5,578,810	6,095,704
D389,178	5,113,445	5,378,882	5,589,680	6,109,801
D430,199	5,140,144	5,396,053	5,612,531	6,123,471
D433,702	5,132,709	5,396,055	5,642,666	6,147,767
3,964,673	5,142,550	5,399,846	5,657,066	6,151,037
4,019,676	5,149,950	5,408,081	5,768,991	6,201,255 B1
4,044,946	5,157,687	5,410,139	5,790,162	6,231,253 B1
4,360,798	5,168,148	5,410,140	5,791,796	6,261,009
4,369,361	5,168,149	5,412,198	5,806,993	6,261,013
4,387,297	5,180,904	5,415,482	5,813,343	6,267,521
4,460,120	5,229,591	5,418,812	5,816,718	6,270,072 B1
4,496,831	5,230,088	5,420,411	5,820,279	6,285,845 B1
4,593,186	5,235,167	5,436,440	5,848,848	6,292,595
4,607,156	5,243,655	5,444,231	5,860,753	6,296,032
4,673,805	5,247,162	5,449,891	5,872,585	6,364,550
4,736,095	5,250,791	5,449,893	5,874,980	6,379,058 B1
4,758,717	5,250,792	5,468,949	5,909,233	6,409,401 B1
4,816,660	5,262,627	5,479,000	5,976,720	6,411,397 B1
4,845,350	5,267,800	5,479,002	5,978,004	6,428,227 B2
4,896,026	5,280,163	5,479,441	5,995,128	6,530,705
4,897,532	5,280,164	5,486,057	5,997,193	6,540,122
4,923,281	5,280,498	5,503,483	6,004,053	6,607,316
4,933,538	5,304,786	5,504,322	6,010,257	6,609,844
4,992,717	5,304,788	5,528,621	6,020,906	6,874,958
5,015,833	5,321,246	5,532,469	6,034,708	6,899,477
5,017,765	5,335,170	5,543,610	6,036,383	
5,021,641	5,364,133	5,545,889	6,057,870	
5,029,183	5,367,151	5,552,592	6,068,415	

www.zebra.com

Zebra Technologies International, LLC
333 Corporate Woods Parkway
Vernon Hills, Illinois 60061.3109 USA
Phone: +1.847.634.6700
Toll-Free: +1.800.423.0422
Fax: +1.847.913.8766